南相馬市新市庁舎建設（機械設備）工事

2026年5月

株式会社 佐藤総合計画

図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
MP-001	特記仕様書(1)	N.S.	MP-101	給排水衛生設備　機器表	N.S.	MP-201	消火設備　系統図	N.S.			
MP-002	特記仕様書(2)	N.S.	MP-102	給排水衛生設備　器具表（1）	N.S.	MP-202	消火設備　免震層ピット平面図	1/200			
MP-003	特記仕様書(3)	N.S.	MP-103	給排水衛生設備　系統図	N.S.	MP-203	消火設備　1階ピット平面図	1/200			
MP-004	特記仕様書(4)	N.S.	MP-104	給排水衛生設備　外構図	1/500	MP-204	消火設備　2階ピット平面図	1/200			
MP-005	工事区分表	N.S.	MP-105	給排水衛生設備　免震層ピット平面図	1/200	MP-205	消火設備　3階ピット平面図	1/200			
MP-006	配置図	1/1000	MP-106	給排水衛生設備　1階平面図	1/200	MP-206	消火設備　4階ピット平面図	1/200			
MP-007	免震層ピット平面図	1/300	MP-107	給排水衛生設備　2階平面図	1/200						
MP-008	1階平面図	1/300	MP-108	給排水衛生設備　3階平面図	1/200						
MP-009	2階平面図	1/300	MP-109	給排水衛生設備　4階平面図	1/200	MP-301	雨水再利用設備　機器表・フロー図	N.S.			
MP-010	3階平面図	1/300	MP-110	給排水衛生設備　PH階平面図	1/200	MP-302	雨水再利用設備　詳細図	1/50			
MP-011	4階平面図	1/300	MP-111	給排水衛生設備　詳細図(1)	1/100	MP-303	雨水再利用設備　制御盤姿図・二次側電気配線図	N.S.			
MP-012	PH階平面図	1/300	MP-112	給排水衛生設備　詳細図(2)	1/100						
MP-013	立面図1	1/300	MP-113	給排水衛生設備　詳細図(3)	1/100						
MP-014	立面図2	1/300	MP-114	給排水衛生設備　外構図（2）	1/500						
MP-015	断面図1	1/300									

1 機械設備共通事項

工事項目　（機械設備工事）　　○印を付したもの

	工事項目 ＼ 建物種別及び屋外	1	2	3	4			屋外
・	1 空気調和設備	○						
・	2 換気設備	○	○					
・	3 排煙設備							
・	4 自動制御設備	○						
・	5 衛生器具設備	○	○					
・	6 給水設備	○	○					
・	7 排水設備	○	○					
・	8 給湯設備	○						
・	9 消火設備	○						
・	10 ガス設備							
・	11 厨房機器設備	○						
・	12 雨水利用設備	○						
・	13 浄化槽設備							
・	14 昇降機設備							
・	15 搬去工事							
・	16							
・								

工事項目の分類は、公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（令和5年版）を標準とする。

項目		特記事項
○	1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする
○	2 機材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 【県:第1編 1.5.1】 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 【県:第5編 1.1.4】
○	3 機材、施工の試験	共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。 【県:第1編 1.5.3】
○	4 耐震施工	（1） 耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針（福島県土木部制定）」、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説 令和3年版」及び、「建築設備耐震設計・施工指針（(一財)日本建築センター）」による。 （2） 本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ・ 特定の施設 （ ⊙ 甲類1 ・ 甲類2 ・ 乙類1 ・ 乙類2 ） ・ 一般の施設 （ その他 ） （3） 設備機器の設計用標準水平震度(Ks)は、下表による。

設置場所	耐震安全性の分類 特定の施設 甲類1.2 及び 乙類1.2		一般の施設 その他	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA		耐震クラスB
上層階、重上及び塔屋	2.0	1.5		1.0
中間階	1.5	1.0		0.6
1階及び地下階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)		0.4 (0.6)

注）：（）内の値は地階および1階（あるいは地表）に設置する水槽の場合に適用する

※ 上層階の定義は次による

建物階数	上層階	建物階数	上層階
2～6階建	最上階	10～12階建	上層3階
7～9階建	上層2階	13階建	上層4階

【重要機器】
・ 高置水槽　⊙ 受水槽　・（　）　・（　）
⊙ 空気調和機　⊙ 厨房機器　・（　）　・（　）
・ ボイラー　・ 冷却塔　・（　）　・（　）

（4） 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする

（5） 軽量機器等の耐震施工
上記以外の100kg以下の軽量な機器の据付け、取付けについては、取付下地を入念に施工、確認し、機器メーカーの指定する方法で確実に取付け、据付けを行い落下等に留意すること。

・	5 建物導入部の変位吸収	・ 図示の箇所に変位吸収配管を施工する。要領は標準図による。 [標準図-施工4,5,6] 対象配管 ⊙ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ⊙ 排水管 ⊙ 地中熱配管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ⊙ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント ⊙ スリーウッション ⊙ 免震継手
・	6 建物EXPJの変位吸収	・ 建築エキスパンションジョイント部の配管要領は標準図による。 [標準図-施工7,8] 対象配管 ・ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 ・ (第2編 2.4.1) 施工方法 ・ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント ・
・	7 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。
・	8 埋戻し土	土中埋設配管の埋戻し土 ※ 根切り土中の良質土 ・（　） (第2編 4.2.1) 配管保護部の埋戻し土 ※ 山砂 ・（　）
・	9 総合調整	各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。 (第1編 1.5.6～1.5.7) ⊙ 飲料水の水質の測定 ⊙ 風量調整 ⊙ 水量調整 ・ ⊙ 室内外空気の温湿度測定 ⊙ 室内気流及びじんあいの測定 ・ ⊙ 騒音の測定 ⊙ 機器の絶縁抵抗測定 ・
・	10 試運転調整	試運転に係る費用は、受注者の負担とする。
・	11 自動制御装置、現場盤	中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。
・	12 運転燃料	納入する （ 種別 ℓ又は kg ）
・	13 スリーブ	水密を要する部分には、つば付き鋼管製を使用する。 (第2編 2.2.27)
・	14 支持金物・固定金具	（1） 屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類 ⊙ ステンレス製(SUS304) ⊙ 溶融亜鉛メッキ(HDZT49以上で配管等の仕様と整合) （2） 屋外機器のアンカーボルトキャップ(樹脂製)を取り付ける。 （3） 振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。 （4） ピット内等多湿箇所の吊り金物、支持金物、固定金物類 ⊙ 溶融亜鉛めっき ⊙ 電気亜鉛めっき製 ⊙ ステンレス製
・	15 金属管の塗装	（1） 下記部位に使用する金属管には塗装を施す。 ⊙ 屋外 ⊙ 居室 ・ 機械室 ・ 共同溝内 ・ ・ ・
・	16 あと施工アンカー	アンカーは原則として先付け工法とするが、やむを得ない場合は監督員と協議のうえ、下記のあと施工アンカーを使用する。特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や電線管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業者について協議すること。 （1） あと施工アンカー ⊙ 接着系アンカー(有機系) ⊙ 金属拡張系アンカー(打込式) （2） 施工前に計画書を作成し、監督員に提出すること。 （ ※ 行う ・ 行わない ） （3） 施工確認試験(目視検査、接触検査、打音検査)を全数 （ ※ 行う ・ 行わない ） （4） 引張試験 （ ・ 行う ※ 行わない ） 引張試験本数 （ ※ 抽出 ・ 全数 ） 【引張試験対象設備】 ・（　） ・（　） ・（　） ・（　） ・（　） ・（　） 引張試験を抽出して行う場合は次による。 ① 1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。 ただし、1日で同一径のものを複数員、複数の場所で施工する場合は、それぞれ行う。 ② ロットの合否判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。 ③ 不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。

1 機械設備共通事項

・	17 インサート	床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。	
・	18 コンクリート貫通・はつり・穿孔	（1） 貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物（電線類・配管類）の調査を行うこと。 （2） 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査（撮影）等による調査について監督員と協議すること。 （3） 金属探知機及びX線内部探査（撮影）等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。	
・	19 電動機及び制御盤	（1） 電動機の電源周波数は50Hzとする。 （2） 制御類の仕様は下記のとおりとし、詳細は図面特記による。 ・ 受注製作品(県仕様品) ⊙ 既製品 （3） ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は種別毎に予備品を納入する。 （4） 水中ポンプ付属ケーブルの最小太さは2.0mm2以上とし、中間接続はしないこと。	
・	20 絶縁継手	図示の箇所に設ける。仕様は標準図による。	[標準図-施工3]
・	21 配管溶接部の非破壊検査	・ 浸透探傷検査(PT)又は磁粉探傷検査(MT) ・ 放射線透過検査(RT)	

2 空気調和設備

・	1 設計温湿度		

	外気条件		室内（調整目標値） 一般系統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	35.8℃	49.0%	26.0℃	50%	℃	%	℃	%
冬季	-26℃	79.8%	22.0℃	40%	℃	%	℃	%

・	2 冷暖房の能力	空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ形空気調和機の温湿度条件はJIS条件による	
・	3 ばい煙濃度計	・ 設ける（電源は、付属制御盤の2次側より取り出すものとし、配管配線とも本工事に含む） ・ 設けない	(第3編 1.1.3)
・	4 煙道	・ 鋼板厚さは煙道幅300φ以下は3.2mm、300φを超えるものは4.5mmとする。 ・ 図示による	(第3編 1.1.2)
・	5 ダクト工法	低圧ダクトとする。（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）	(第3編 2.2.1)
・	6 長方形ダクト工法	⊙ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）	
・	7 風量測定口	取付け箇所は図示による。取付け面は監督員の指示による。	(第3編 2.2.5.5)
・	8 チャンバー等	（1） 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには、排水管を設け、最寄りに排水すること （2） シーリングディフューザー形吹出口には、下記の接続チャンバーを設けること (第3編 1.14.6) （a） ネック径がΦ200以下のもの 400×400×250H （b） ネック径がΦ200をこえるもの 500×500×300H （3） プリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンバーを設けること （a） シングル形 200×(L+100)×300H （b） ダブル形 250×(L+100)×300H	
・	9 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	標準仕様書のよるほか、下記による （1） 復帰方式 遠隔式(電動式（定格入力は DC24V 0.7A以下）) (第3編 1.15.7～1.15.9) （2） 復帰動作 順送り	
・	10 弁類	⊙ JIS又はJV5K ⊙ JIS又はJV10K ⊙ ステンレス鋼製に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。	
・	11 防振継手	⊙ 合成ゴム製 ⊙ ステンレス製ベローズ形 ・ 3山樹脂製ベローズ形 (第2編 2.2.8)	
・	12 フレキシブルジョイント	⊙ 合成ゴム製円筒形 ⊙ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製ベローズ形 (第2編 2.2.9)	
・	13 伸縮管継手	⊙ ベローズ形 ・ スリーブ形 (第2編 2.2.7)	
・	14 温度計	取付部は下記による 温度計は円形指示計（バイメタル式Φ100）とする (第2編 2.3.2) ⊙ 熱源機器の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） (第3編 1.14.14) ・ ボイラーの温水管（返り） ⊙ 空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置後の冷温水管（送り、返り） ⊙ 熱交換器の温水管（送り、返り） ⊙ 冷温水ヘッダー（送り）及び冷温水ヘッダーの各返り管 ⊙ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンバー	
・	15 圧力計	取付部は下記による (第2編 2.3.1) ⊙ 熱源機器の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ⊙ 空気調和機の冷温水管（送り、返り） ⊙ 熱交換器の温水管（送り、返り） ⊙ 冷温水ヘッダー（送り、返り）	
・	16 瞬間流量計及び測定タッピング(32mmビトー管流量計用)	（1） 熱源機器の冷温水管（送り又は返り） ⊙ 瞬間流量計 ・ タッピング (第2編 2.3.8) （2） 熱源機器の冷却水管（送り又は返り） ⊙ 瞬間流量計 ・ タッピング （3） ボイラー又は熱交換器の温水管（送り又は返り） ⊙ 瞬間流量計 ・ タッピング （4） 空気調和機の冷温水管（送り又は返り） ⊙ 瞬間流量計 ・ タッピング （5） 冷温水ヘッダーの各返り管 ⊙ 瞬間流量計 ・ タッピング	
・	17 油面制御装置	制御盤には下記の端子を設けること。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする (第2編 2.3.5) ・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 漏洩警報 ・ ・ ・ ・ ・	
・	18 消音内貼り	（1） 施工する場所は、図示したダクト及びチャンバー類とする (第3編 1.14.6) （2） 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外寸寸法とする	
・	19 ファンコイルユニット	吹出口 ・ ユニバーサル形 ・ (第3編 1.7.4) 調整弁 ・ 流量調整弁 ⊙ 定流量弁 ・	
・	20 保温	（1） 機器の保温種別 ※ 図示による ・ （2） ダクトの保温種別 ※ 図示による ・	
・	21 予備品	・ ファンコイルユニットの付属品 : ⊙ フィルターは各型番台数の1/2以上 ・ 設置台数の100% ・ 自動巻取形エアフィルター用フィルター : ⊙ 各1巻 ・ 設置台数の100% ・（　） ・ 折込形エアフィルター、プレフィルター（アルミ枠付） : ⊙ 各サイズ毎の1/2以上 ・ 設置台数の100% ・

3 換気設備

・	1 ダクト	（1） 低圧ダクト ・ コーナーボルト （⊙ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） 工法 (第3編 2.2.1) ・ アングルフランジ工法 ⊙ スパイラルダクト ・ 塩化ビニル管 ・ （2） 高圧ダクト ・ ・
・	2 排気フード	排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、 (第3編 1.14.8) 材質は下記による ・ ステンレス鋼板（補強共） ・ ・ フード囲いは、上記フードと同材質とすること フードの内部周囲のといには、黄銅製コック又はプラグを取り付けること
・	3 ダクトの保温	⊙ 有（ 保温の種別: ※ 図示による ） ・ 無 (第2編 3.1.4)
・	4 他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する （1） 風量測定口 （2） チャンバー等 （3） 防煙ダンパー （4） 消音内貼り （5） ダクトの吊り及び支持

4 排煙設備

・	1 ダクト	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚 1.6mm以上）	(第3編 2.2.4)
・	2 排煙口の形式	・ スリット形 ・ パネル形 ・	
・	3 排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作機能 ・ 要 ・ 不要 ）	(第3編 1.15.5)
・	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書((一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる	

5 自動制御設備

・	1 中央監視制御	⊙ 有（ ⊙ 本工事 ・ 別途 電気設備工事 ） ・ 無	
・	2 計装用配線	屋外・屋内露出の電線は、図面に特記が無ければ金属管配線とする。	(第4編 1.5.1)
・	3 屋内キャビネット	天井内隠蔽の配線は、図面に特記が無ければケーブル配線とする。 ・ 鋼板 (厚1.6mm以上) ・ ステンレス鋼板 (厚1.2mm以上)	(第4編 1.3.3)

6 衛生器具設備

・	1 一般事項	機器及び仕様は機器表による 衛生陶器の色は監督員の指示による	
・	2 小便器用節水装置	個別感知フラッシュ方式 （ ・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 （ ・ 埋込み ・ 露出 ） ）	(第5編 1.1.2)
・	3 大便器	・ 節水Ⅱ形 ・ 節水Ⅰ形 ・ 一般形	(第5編 1.1.2)
・	4 大便器便座	・ 普通便座 ・ 暖房便座	(第5編 1.1.2)
		暖房便座を設置する場合の、付加機能は次による ・ 温水洗浄機能 （ 水道直結給水方式とする 加熱方式(・ 貯湯式 ・ 瞬間式 ） ） ・ 温風乾燥機能 ・ 脱臭機能 ・ 擬音機能	
・	5 水栓	・ 一般水栓 ※ 節水型水栓	(第5編 1.1.6)
・	6 自動水栓	（1） 機器表による （2） 自動水栓の電源供給方法 （ ※ AC100V ・ 電池式 ・ 発電式 ）	(第5編 1.1.7)
・	7 擬音装置	（1） 機器表による （2） 擬音装置の電源供給方法 （ ※ AC100V ・ 電池式 ）	

7 給水設備

・	1 量水器	（1） 親メーター （ ⊙ 貸与品 ・ 買い取り ） （ ※ 直読式 ・ パルス式 ） （2） 子メーター （ ・ 貸与品 ⊙ 買い取り ） （ ※ 直読式 ・ パルス式 ）	
・	2 量水器桝	（1） 親メーター用 （ ⊙ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 ） （2） 子メーター用 （ ・ 水道事業者の指定品 ⊙ 標準図 ）	(第5編 1.8.4)
・	3 弁類	（1） 水道直結部分はJIS又はJV10Kとする。 （2） その他の部分はJIS又はJV5Kとする ただし、特記部分はJIS又はJV10Kとする。	(第2編 2.2.1)
・	4 引込給付金等	⊙ 要（ 別途支出 ） ・ 不要	
・	5 緊急遮断弁	⊙ 有（ ・ 機械式 ⊙ 電気式 ） ・ 無	(第2編 2.2.22)
・	6 試験	中水を利用する場合の通水試験は、雑用水系統に着色水を使用して誤接続がないか確認すること	(第2編 2.9.3)

8 排水設備

・	1 放流納付金等	⊙ 要 （ ⊙ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要	
・	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管の寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする	
・	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける	
・	4 試験	排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと	(第2編 2.9.4)
・	5 屋外排水桝用ふた	・ 屋外プラスチック桝用塩ビふた 県章 : ※ 無し ・ 入り おすい、雨水等の標準文字: ※ 入り ・ 無し 特殊文字: ※ 無し ・ 有り(図示による) 開閉具納品 : ・ 1個 ・ (個) ・ 屋外プラスチック桝用鋳鉄製防護ふた 県章 : ※ 無し ・ 入り おすい、雨水等の標準文字: ※ 入り ・ 無し 特殊文字: ※ 無し ・ 有り(図示による) 耐荷重 : ※ 図示による ・ コンクリート桝用鋳鉄製ふた 県章 : ※ 無し ・ 入り おすい、雨水等の標準文字: ※ 入り ・ 無し 特殊文字: ※ 無し ・ 有り(図示による) 耐荷重 : ※ 図示による 開閉用フック(ハンドル)納品: ・ 1組 ・ 2組 ・ (組) ・ 化粧蓋 ※ 無し ・ 有り(仕様、構造等は図示による) 開閉具納品 : ・ 1組 ・ (組)	

9 給湯設備

・	1 弁類	給水設備の当該事項による。	(第2編 2.2.1)
・	2 保温	保温の種別は、標準仕様書による。	(第2編 3.1.5)
・	3 その他	貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りの流しに開接排水すること	

10 消火設備

・	1 屋内消火栓箱	屋内消火栓箱の仕様は以下による ・ HB-1A ・ HB-1B ・ HB－1AT ・ HB-1BT ・ HB-2A ・ HB-2B ⊙ HB-4A ⊙ HB-4B	(第5編 1.5.2.2)
・	2 屋外消火栓箱	・ 鋼板(1.6mm) ・ ステンレス鋼板(1.5mm) 屋外消火栓箱の仕様は以下による ・ HB-2D ・ HB-2I	(第5編 1.5.4.2)
・	3 保温	保温が必要な場合は図示による。	(第2編 3.1.5)

11 厨房設備

・	1 熱調理器の熱源	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ⊙ 電気	(第5編 1.6.1)
・	2 厨房機器類	仕様性能等は図示によることと、機器の寸法は概略寸法とする。	(第5編 1.6.1)
・	3 転倒防止	熱調理器、高さが1.0mを超える厨房機器は、床または壁に固定する。 厨房機器据付け要領は標準図による。	(第5編 2.2.6) [標準図-施工75]

12 ガス設備

・	1 充てん容器	・ 別途工事 （ ・ 50kg× 本 ・ kg× 本 ） ・ 本工事 （ ・ 50kg× 本 ・ kg× 本 ）	
・	2 集合装置	本立て	[標準図-施工73]
・	3 転倒防止等	（ ・(a) ・(b) ）による。また、容器用固定具は鋼製、溶融亜鉛メッキ仕上げとし、 鎖はステンレス製とする	[標準図-施工74]
・	4 ガスメーター	（1） 親メーター （ ・ 貸与品 ・ 買い取り ） （ ※ 直読式 ・ パルス式 ） （2） 子メーター （ ・ 貸与品 ・ 買い取り ） （ ※ 直読式 ・ パルス式 ）	(第6編 2.1.7)
・	5 引込負担金等	・ 要（ 別途支出 ） ・ 不要	

13 浄化槽設備

・	1 処理能力	処理対象人員 人 処理水量 m^3/日 流入BOD mg/L	
・	2 型式	・ ユニット形 ・ 現場施工形	(第8編 1.1.1)
・	3 放流水質性能	BOD mg/L以下 除去率 %以上	(第8編 1.1.1)
・	4 水質表の提出(BOD、SS)	完成引渡しの6ヶ月後に放流水質性能等を記入した水質表を提出すること	(第8編 1.1.1)
・	5 施工標	処理能力、放流水質、処理方式、施工年月日等を記入したSUS製又は銅板製のものを設ける	

共通事項

※ 受注者が設計仕様に基づき任意に選定する機器類を設置する場合は、電源工事が本工事・別途工事にかかわらず、設置する機器類に対して電源（電圧、電流、開閉器容量等）や配線容量が適合していることを確認すること。なお、確認は電源工事施工前に行うこと。また、適合していない場合は、監督員と協議を行うこと。
（設計段階における機器類の電源容量等は、想定機器から求めたものであり、受注者が選定する機種によっては、電源容量等の不足が生じる場合があることから、確認を要するものである。）

※ 雷保護設備がある建築物の屋上等に機器類を設置する場合は、雷保護領域内に納まることを確認すること。また、雷保護設備がない建築物でも屋上等に機器類を設置することにより、雷保護設備が必要になる場合があるので、確認すること。確認の結果、雷保護領域内に納まらない場合や新たに雷保護設備が必要になる場合は、監督員と協議すること。

福島県建築関係工事特記仕様書

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MP-001
図面名	特記仕様書(1)	設計 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 -	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.
		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 遥司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森
			通し番号

14 東日本大震災の復旧・復興事業における積算方法等

・ 1 資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

・ 2 労働者確保

(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。
営繕費(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費
労務管理費:募集及び解散に要する費用・賃金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業員及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(営繕費):設計書に積上げ計上された金額
2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合: %

(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様 式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

15 施工条件

1 工程関係

※ 調整 無し
・ 別途工事との工程調整が必要 有り
調整項目 ・資材等の流用 ・仮設及び工事用道路等の調整 ・建設機械等の調整
・施工順序の調整 ・図示による ・その他 ( )

2 施工時期
施工時間
施工方法

※ 制限 無し
・ 制限 有り
・ 制限する工種名 ( )
・ 施工時期 (・土日祝日のみ ・図示による ・その他 ( ))
・ 施工時間 (・ ・ 時～ 時まで ・)
・ 施工方法 ( )

工事を施工しない日
・ 有 (・ 年 月 日 ・別紙のとおり)
・ 無
工事を施工しない時間帯
・ 有 (・ : ～ : ・別紙のとおり)
・ 無

3 他機関との協議

協議が必要な機関名 ( )
協議完了見込み時期 ( )

4 工事用地

・下記以外は図示等による。
(1) 工事車両の駐車場 (※ 構内 ・( ))
(2) 資材置き場 (※ 構内 ・( ))
(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※ 構内 ・( ))

・ 仮設ヤード ※ 無し ・ 有り (※ 図示による ・( ))

5 公害対策

※ 施工方法の制限 無し
・ 施工方法の制限 有り
・ 騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他 ( )
・ 施工方法等
・ 指定工法名 ( ) ・別途協議による ・図示による

・ 事業損失防止に関する調査
・ 騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定
・ その他 ( )
・ 調査箇所
・ 図示による ・別途協議
・ 調査時期
・ 図示による ・( )

6 安全対策

・ 近接公共施設等に対する制限
・ 近接公共施設名等 (・鉄道 ・電気 ・ガス ・水道 ・電話 ・その他( ))
・ 制限を受ける工種 ( )

7 その他

※ 敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※ 当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

16 準備期間確保工事・フレックス工事

・ 1 準備期間確保工事

準備期間確保工事における事務処理要領
この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(○○日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

・ 2 フレックス工事

フレックス工事試行要領
この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。

○ 3 着工届の提出

着工届は、着工後速やかに提出すること。

○ 4 コリンズの登録

受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。

○ 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係

施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。

○ 6 その他

・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)

・ 工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)

15 施工条件

工事区分
別表－1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。
また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」

別表－1 設備工事との工事区分表

工事内容				建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	屋内	※	・		
			屋外	※	・		
			屋上	※	・		
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)		※	・		
		テレビアンテナ基礎(アンカーボルトを除く)		※	・		
		避雷針の基礎(アンカーボルトを除く)		※	・		
	機械関係	屋内設置(架台、アンカーボルトを除く)		※		・	
		屋上設置(架台、アンカーボルトを除く)		※		・	
		屋外設置(架台、アンカーボルトを除く)		※		・	
	架台、アンカーボルト				※	※	
	特記した基礎			※	・	・	
開口部	梁、床、壁	補強を要するもの		・	※	※	
	貫通スリーブ	補強を要しないもの		・	※	※	
	梁、床、壁	補強を要するもの		※			
	貫通部型枠	補強を要しないもの		※			
	軽量鉄骨下地、壁、	補強を要するもの		※			
	天井ボード類の切込	補強を要しないもの(ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽは除く)		※			
	埋込形分電盤、	補強を要するもの		・	※	・	
	端子盤等の仮枠	補強を要しないもの		・	※	・	
	上記開口部の補強			※			
	上記開口部の墨出し			※	※	※	
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)			・	※	※	
	フリーアクセスフロア用配線器具			※			
点検口	床、壁、天井			※			
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			※			
湯沸室のフード				※	・	・	
換気扇の取付枠				・	・	・	
流し台	排水トラップ共			※		・	
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤		自家発用	※	・		
	タンク基礎		空調用	※		・	
床下水槽のマンホールふた				※			
屋外排水管	雨水			※		・	
	汚水、雑排水					※	
雨水立管 (たてどい)				※			
トイレ手すり				※		・	
化粧鏡(衛生器具まわり)				・		※	
はめ込形洗面器用カウンター (前板共)				※		・	
ガスボンベ転倒防止用の鎖						※	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ			※			
	防火扉レリーズ				※		
	電線巻				・	※	
	配線ピット及びひふた			※	・		
	機器などへの接続 (1次側)				※	・	
	機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管 (接地共)					※	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				※		
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線				※		
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線				※		
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管 (接地共)				※	・	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線				・	※	
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)				・	※	
	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				※		
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線				・	※	
ガス漏れ検知器					・	※	
電気錠	電気錠及び通電金具			※	・		
	TENキー及び制御盤			※	・		
エレベーター出入口三方枠 (金属製)				※		・	
エレベーター出入口三方枠 (石製)				※		・	
シャワーユニット				※		・	
バスユニット				※		・	
洗濯機パン				・		※	
システム天井	ボード・Tバー			※			
	照明ライン設備プレート				※		
	空調ライン設備プレート					※	
消火器ボックス				※			
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤					・	・	
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)						・	

福島県建築関係工事特記仕様書

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MP-002
図面名	特記仕様書(2)	担当 一級建築士第315658号 飯柴耕一	通し番号
設計番号	04632-010	作成日 - / 尺度 A1 N.S. A3 N.S.	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 槍堀 進司
		担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森

17 現場環境改善（快適トイレの設置）

・	1 内容	① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。 【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 （1） 洋式(洋風)便座 （2） 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) （3） 臭い逆流防止機能 （4） 容易に開かない施錠機能 （5） 照明設備 （6） 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする) 【付属品として備えるもの(全項目必須)】 （7） 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 （8） 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 （9） サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) （10）鏡と手洗器 （11）便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品(任意)】 （12）室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m2以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) （13）擬音装置(機能を含む) （14）着替え台 （15）臭気対策機能の多重化 （16）室内温度の調整が可能な設備 （17）小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等) ② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。 ③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。
・	2 設置に要する費用	快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。

18 再生資源利用（促進）計画

・	1 再生資源利用計画書	受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
・	2 再生資源利用促進計画書	受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

19 総合評価方式における技術提案書の確認

	1 内容	※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について 総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。 なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。 確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。 また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。

20 熱中症対策

	(1)工期・工程等	
・	猛暑による作業不能日数	本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。 ⅰ）作業不能日数:●日間 ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する東北地方●●※1（福島）地点における WBGT 値 (気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分(令和●年～●年)について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律(昭和 63年法律第 91 号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したもの。 ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。 ※1 下表の観測地点を記入 （参考）

建設事務所管内	観測地点
県北	茂庭,梁川,福島,鷲倉,二本松
県中	船引,郡山,湯本,小野新町,石川
県南	白河,東白川
会津若松	金山,若松
喜多方	檜原,喜多方,西会津,猪苗代
南会津	只見,南郷,田島,桧枝岐
相双	相馬,鵜館,浪江,川内,広野
いわき	山田,小名浜

福島県建築関係工事特記仕様書

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事			一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MP-003
図面名	特記仕様書(3)			担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 増垣 進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項目		試験時期 配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考
・1	給水装置に該当する管	○	○	○	○	水圧試験	1.75MPa以上	60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。
・2	揚水管等のポンプに直結する配管	○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍（ただし、最小0.75MPa）	60分	
・3	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍（ただし、最小0.75MPa）	60分	
・4	給湯管	○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。	60分	
・5	さや管ヘッダー配管	○	○		○	水圧試験	管種 / 初圧 / 60分後 架橋ポリエチレン管 0.75MPa 0.45MPa以上 ポリブテン管 0.75MPa 0.55MPa以上 〔注〕継手部分の漏水の有無を目視確認する。	60分	60分後に規定の圧力以下の場合は再試験を行う。再試験は、共通仕様書による。
・6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験		30分	
						煙試験	刺激性の濃煙 250Pa	15分	
	排水管(屋外埋設管)			○		満水試験		30分	原則、埋戻し前又は最小限の埋戻しで行う。
・7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍（ただし、最小0.75MPa）	60分	
・8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍	60分	
・9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の1.5倍又は1.75MPaのいずれか大なる圧力（7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力）	60分	連結送水管送水口等
・10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験（空気又は窒素）	貯蔵容器から選択弁までは10.8MPa 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力（選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力）	10分	
・11	粉末消火配管				○	気密試験（空気又は窒素）	貯蔵容器から選択弁までは2.5MPa 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力（選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力）	10分	
・12	冷温水管、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍（ただし、最小0.75MPa）	30分	
・13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍（ただし、最小0.2MPa）	30分	
・14	油管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍	30分	
・15	冷媒配管		○		○	気密試験（空気又は不燃性ガス）	冷媒ガスの種類 / 気密試験圧力 R22 R134a R407C R410A 工事監理指針による 〔注〕(1) 試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2) 試験終了後、ガスをパージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が−0.1MPa以下になってからさらに15分以上真空引きし、密閉放置して漏れのないことを確かめる。 (3) 配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4) 屋内機と屋外機の連絡配線は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。	外部に発泡液を塗布して漏れのない事。その後24時間放置して漏れのない事。	周囲温度変化による圧力変化の補正を行う。
・16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MPa（ただし、温水コンセント接続後は0.1MPa） 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍（ただし、最小0.75MPa）	30分	
・17	通水試験				○	通水試験	・給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2ppm検出されるまで消毒を行う。 ・排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ～空調用ドレン管にも適用する。 ・通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・給湯設備～給水設備に準ずる。		
・18	水質試験				○	簡易試験（9項目）	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度		福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例
・19	揚水用ポンプ、小型給水ポンプユニット、給湯用循環ポンプ 水道用直結加圧形ポンプユニット				据付完了後	水圧試験	JIS B8301「遠心ポンプ，斜流ポンプ及び軸流ポンプ－試験方法」による。 1.75MPa	1分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。
・20	塩素滅菌装置				据付完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。		
・21	水槽類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。	12時間	

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項目		試験時期 配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考
・22	鋼製ボイラー				据付完了後	水圧試験	・最高使用圧力が0.42MPa以下のものは、最高使用圧力の2倍（ただし、最小0.2MPa） ・最高使用圧力が0.42MPaを超え1.5MPa以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MPaを加えた圧力 ・最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MPaを加えた圧力（ただし、最小0.2MPa）		
・23	鋳鉄製ボイラー				据付完了後	水圧試験	・蒸気ボイラーは、0.2MPa ・温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍（ただし、最小0.2MPa） ・セクションは、最高使用圧力が0.2MPa以下のボイラーは0.4MPa、最高使用圧力が0.2MPaを超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		
・24	真空式温水発生機				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa･mL/sec（大気圧換算値）以下		
・25	無圧式温水発生機				○	満水試験		30分	
・26	鋳鉄製温水発生機				○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MPa	10分	
・27	温水発生機に組込む熱交換器				○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MPaを加えた圧力（ただし、最小0.2MPa）		
・28	冷凍機				○	水圧試験	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水系路
・29	遠心冷凍機				○	気密試験	真空95kPaとし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50Pa以下		運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・30	吸収冷凍機 直だき吸収冷温水機 小形直だき吸収冷温水機 ユニット				○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa･mL/sec（大気圧換算値）以下		
・31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MPa	10分	
・32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター				○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍（ただし、最小0.5MPa）		
・33	貯湯タンク 熱交換器 ヘッダー				据付完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 Pa＝P×σn／σa Pa:補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P:補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σn:試験時の温度における材料の許容引張応力 σa:使用温度における材料の許容引張応力		
・34	密閉形隔膜式膨張タンク				据付完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上		
・35	地下オイルタンク				据付完了後	水圧試験	70kPa以上	10分	

2. 浄化槽設備

項目		試験時期 配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考
・1	槽類				工事完了後	満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。	24時間	
・2	汚水管及び汚泥管	○		○		満水試験		30分	
・3	ポンプ吐出管			○	○	水圧試験	最小圧力0.75MPa	60分	
・4	消泡管	○		○	○	通水試験			
・5	空気管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍	60分	

3. ガス設備

項目		試験時期 配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容	最小保持時間	備考
・1	都市ガス	○	○	○	○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社規程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款
・2	液化石油ガス	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、高圧側1.56MPa、低圧側8.4kPa以上10.0kPa以下 供給管等の内容積 / 10L以下 5分 / 10L～50L 10分 / 50L超過 24分		
						点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付後に行う。		

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。

福島県建築関係工事特記仕様書

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MP-004
図面名	機械設備工事試験内容一覧表	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	
設計者	一級建築士第315658号 飯柴耕一		
設計番号	04632-010	作成日 −	縮尺 A1 N.S. A3 N.S.
構造関係規定に適合することを確認した	一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 椎堀 進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森	通し番号

5. 工事範囲

（○印をつけたものが該当する）

種別		有 含む	有 別途	無	備考
電気	電灯・コンセント		○		
	非常照明・誘導灯		○		
	動力		○		
	受変電		○		
	蓄電池		○		
	発電		○		
	構内情報通信網		○		
	構内交換・電話		○		
	情報表示		○		
	映像・音響		○		
	拡声		○		
	誘導支援		○		
	呼出し		○		
	住宅情報			○	
	テレビ・ＦＭ共同受信		○		
	テレビ電波障害防除		○		
給排水衛生	衛生器具		○		
	給水		○		
	排水・通気		○		
	給湯		○		
	厨房機器	○			
	消火設備		○		
	消火器		○		
	浄化槽				
	ガス				
空気調和	空気調和		○		
	暖房		○		
	冷房		○		
	換気		○		
	自動制御		○		
昇降機	エレベーター	○			
	小荷物専用昇降機			○	
	エスカレーター			○	
備品等	非常用救助袋	○			
	造付家具	○			
	移動家具	○			
	カーテン類	○			
	カーペット類	○			
	マット類	○			
	郵便受	○			
	サイン	○			
	表示板文字	○			
	掲示板	○			
	装飾物			○	
	可動間仕切	○			
	その他の備品		○		
外構	造園・植栽		○		
	門		○		
	塀		○		
	外灯		○		
	屋外排水		○		
	駐車場		○		
	敷地整地		○		
	擁壁		○		
	その他の構内施設		○		
その他	道路補償			○	
	解体工事	○			
	移転工事		○		

6. 建築・電気機械各工事の分担区分表

（※適用欄○印が該当する。）

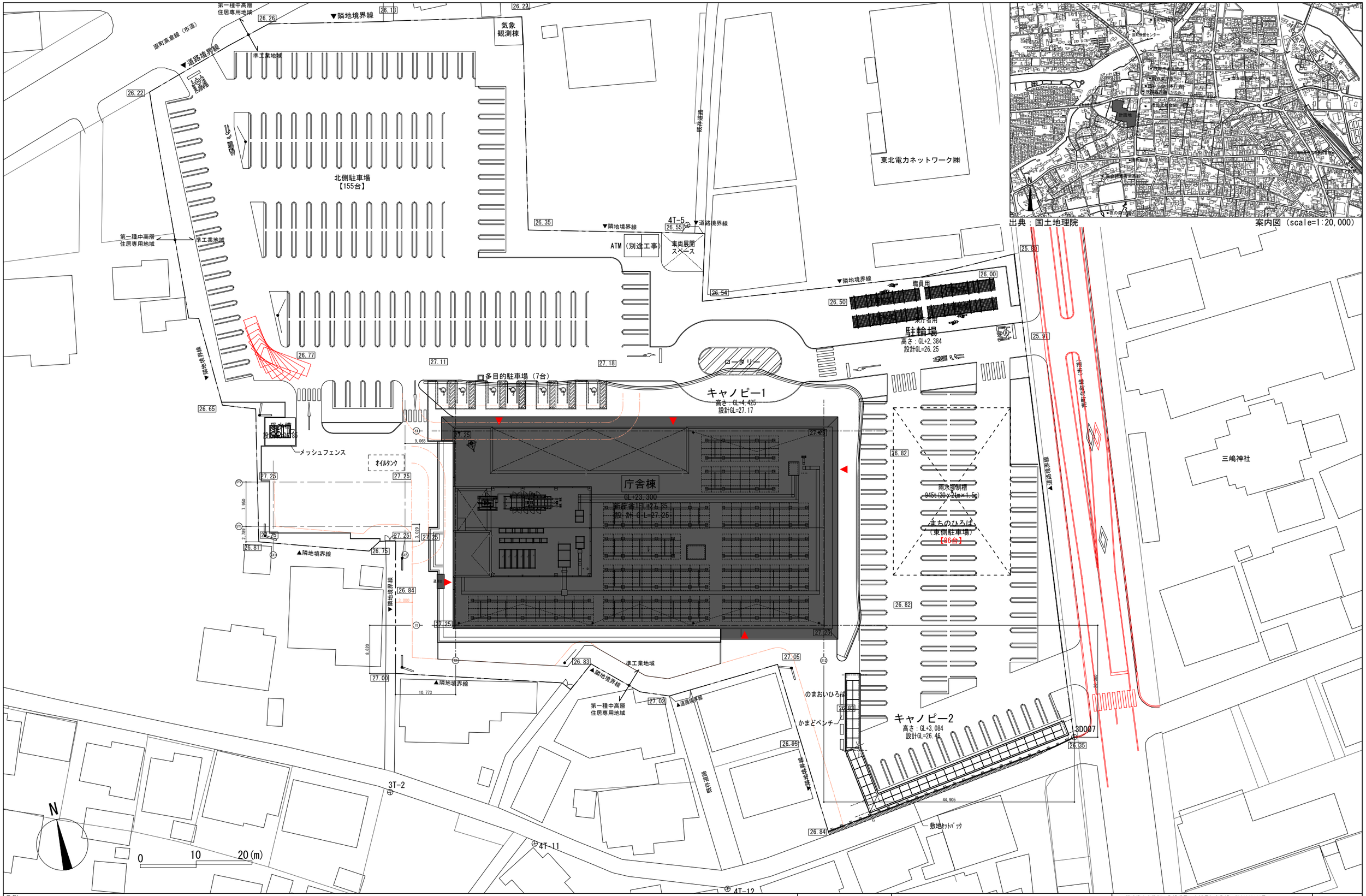
工事項目	適用	工事内容 ＼ 工事区分	建築	空調	衛生	電気	昇降機	備考
各工事共通事項	○	機械搬入口の設置（ＥＬＶ用含む）	○					開口部補強及び搬入後閉鎖含む
	○	機械搬入用吊り下げビーム又はフック	○					位置、ｔ数
	・	ボイラー用、発電機用煙突工事（接続フランジ、耐火被覆の穴あけを含む）	○					煙突までの煙導及び接続は各設備工事
	○	梁の貫通スリーブの補強	○					スリーブ及び周辺モルタル充填は設備工事
	○	床・壁の貫通穴及び貫通スリーブ		○	○	○		周辺補強は建築工事
	○	各壁面ガラリ、フード並びに遮風板	○					機械換気用については設備工事
	○	パイプシャフト、ダクトスペース及びシャフト内デッキ	○					パイプユニット取付用金物は設備工事
	○	天井・壁・床の改め口（点検操作用）	○					
	○	天井・壁・床・貫通パイプ箇所の穴埋め		○	○	○		
	○	屋内外トレンチ及びピットの築造	○					
	○	外装開連貫通パイプ等周辺のコーキング	○					
	○	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○					
	○	開口部の型枠・補強	○					
	○	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	
	○	貫通スリーブ・開口部の穴埋め	○	○	○	○	○	
	○	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	○	
	○	ボード類の切り込み	○					
	○	下地材の切込み・補強	○					
	○	切込み・補強	○					
	○	各種ボックス類	○	○	○	○		
	○	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○					
電気設備	○	電力ケーブル引込みマンホール				○		特殊なものは建築工事
	○	電話ケーブル引込みマンホール				○		〃
	・	電気等の床ピット及びセパレータ、蓋工事	○					
	・	変圧器等床ピット基礎工事	○					
	○	発電機の床補強・機器基礎工事	○					
	○	〃 の床ピット及び蓋工事	○					
	・	〃 の天井ビーム・フック工事	○					
	○	〃 の地下オイルタンク、オイル配管工事				○		自家発室内は電気工事
	○	〃 の地下オイルタンク躯体工事	○					〃
	・	〃 の排水管工事			○			〃
	○	埋込照明器具及びスピーカの取付用下地及補強	○					切込み並びに補強共（墨出しは電気）
	・	軽鉄間仕切壁に取付ける熱パイプ貫通の補強	○					〃
	○	電動シャッターの配管配線（一次側接続迄）				○		本体は建築
	○	オートドアーの電源供給配管・配線（一次側接続迄）				○		〃
	○	防火戸の煙連動制御盤及び配管・配線（一次側接続迄）				○		〃
	・	可動間仕切内配管工事（一次側接続迄）				○		〃
	○	アンテナ・マスト等基礎工事	○					
空調設備	・	蓄熱槽の築造工事	○					耐熱工事、連通管、マンホール、タラップ、清掃を含む
	・	オイルタンク基礎及び外廻のコンクリート工事	○					
	○	室外機等の床補強、機器基礎工事	○					機器アンカー並びに仕上工事は空調
	○	ポンプ、空調機、ファン等の機器基礎工事	○					〃
	○	天井、吹出し等の取付用下地枠		○				切込み補強共（墨出しは空調）
	・	照明器具併設吹出し口				○		
	○	吸排気ガラリ	○					
	・	窓下ファンコイルユニットの化粧囲い	○					吹出口、点検口を含む
	○	ファンコイル用配管配線（３Ｐコンセント迄）		○		○		100Ｖ電源
	○	〃 手元調整器		○				
	○	自動制御関係計器類		○				
	○	自動盤（現場）以降の配管配線		○				
	○	天井換気扇（100Ｖ単独運転の電源は電気工事）		○				全熱交換形のコントロールスイッチは空調
	○	壁換気扇				○		
	○	空調用の制御配管配線		○				

工事項目	適用	工事内容 ＼ 工事区分	建築	空調	衛生	電気	昇降機	備考
空調設備	・	地震感知器の配管配線				○		感知器は空調
	・	ばい煙濃度計の指示計までの配管配線				○		
	・	ばい煙濃度計の指示計以降の配管配線		○				
	○	天井吊形ファンコイルユニットと操作スイッチ間の渡り配管配線		○				
	・	防煙ダンパと連動制御部までの配管配線及び連動制御器から煙感知器までの配管				○		
	○	換気扇、全熱交換機及びガス器具排気連動装置の配管配線				○		
	○	自動制御設備、制御用の配管配線		○				
	・							
衛生設備	○	地下各種水槽及びピットの躯体	○					マンホール・タラップ清掃を含む
	○	地上受水槽基礎、フェンス築造	○					
	○	貯湯槽ポンプ等の床補強及び機器基礎	○					機器アンカー及び仕上工事は衛生
	○	機械室厨房等の排水溝および蓋工事	○		○			ガソリントラップ・グリストラップを含む
	○	天井・床・壁の点検口	○					点検用梯子・保守台を含む
	○	造り付流し（配管の特殊な穴あけを含む）	○					台内配管の周辺ふさぎは衛生
	○	便器取付開口部	○					切込み・補強共（墨出し・枠は衛生）
	○	雨樋	○					縦樋受以降の横引配管は衛生
	○	フロートスイッチ、フロートレススイッチ取付			○			
	○	同上用配管配線			○			
	・	浄化槽用動力工事				○		
	○	鏡及び化粧棚（洗面器上部）	○					意匠図に図示した特殊なものは建築
	・	屋外防火用水槽	○					
	・	屋外浄化槽躯体及周囲フェンス築造	○					
	○	軽鉄間仕切に取り付ける消火栓、湯沸器等の補強（パイプ貫通を含む）	○					切込み並びに補強（墨出しは衛生）
	○	流し台配管の接続			○			流し台（トラップ含む）は建築
	○	厨房機器配管等の接続			○			
	・							
昇降機設備	○	機械室・シャフト・ピット躯体	○					機械室軽量コンクリート打設含む
	○	出入口・インジケーター押釦の穴あけ	○					補強は建築
	○	機械室床機械据付用穴あけ	○					（墨出しは昇降機）
	○	機械室内配線ダクト穴あけ	○					（ 〃 は電気）
	○	機械室内仕上げ及び天井機械吊り上げ用フック	○					
	○	出入口等取付後の床・壁・天井仕上	○					
	○	換気設備及び付属電気設備				○		
	○	電源引込				○		
	○	接地工事				○		
	○	昇降路外の監視盤・操作用線及びインターホン用配線引込み					○	配管は電気
	・	ＢＧＭ用配線引込工事				○		
	○	機械室ピット内コンセント工事				○		
	○	エレベーター監視盤製作及び据付					○	
	○	昇降路がＳ造の中間ビームブラケット受けピース	○					
	○	昇降路がＳ造の中間ビーム本体及びブラケット受け					○	
	○	シャフト頂部搬入用フック・トロリービーム	○					
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							
	・							

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MP-005
図面名	工事区分表	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川倚慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1 N/S A3 N/S
構造関係規定に適合することを確認した	一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第3334号 笹堰 達司	設備関係規定に適合することを確認した	一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4098号 渡邉 森

通し番号



出典：国土地理院

案内図（scale=1:20,000）

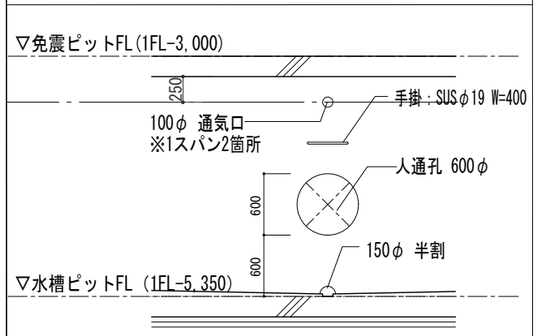
凡例		
———	敷地境界線	基準点座標
·····	延焼ライン	3D007　(X:182576.608, Y:99124.497)
00.00	外構レベル	

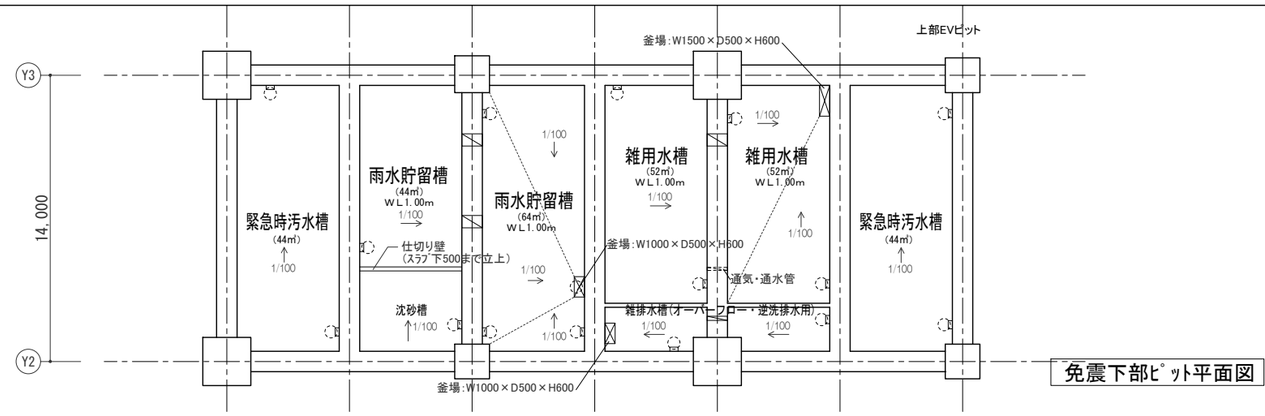
株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事			一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-006
図面名	案内図・配置図			総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日	–	尺度 A1　S=1/300 A3　S=1/600	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 稽垣　進司
					設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森

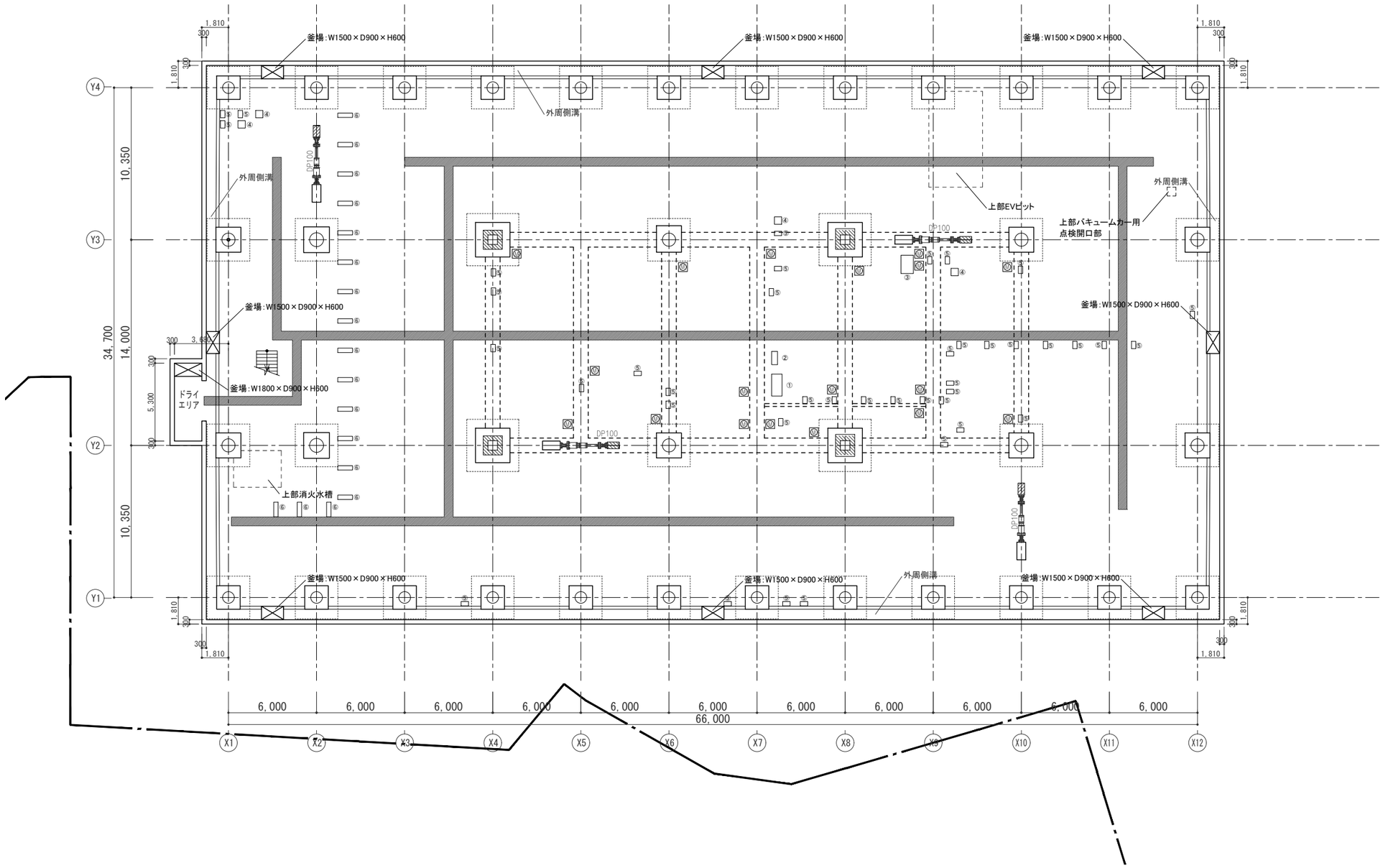
通し番号

人通口部分詳細（Scale＝1：60）





免震下部ﾋﾟｯﾄ平面図



■ピット基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	700×1,500×H150	1
②	900×400×H150	1
③	840×1,250×H300	1
④	500×500×H150	4
⑤	300×500×H300	41
⑥	300×1000×H300	17

凡例

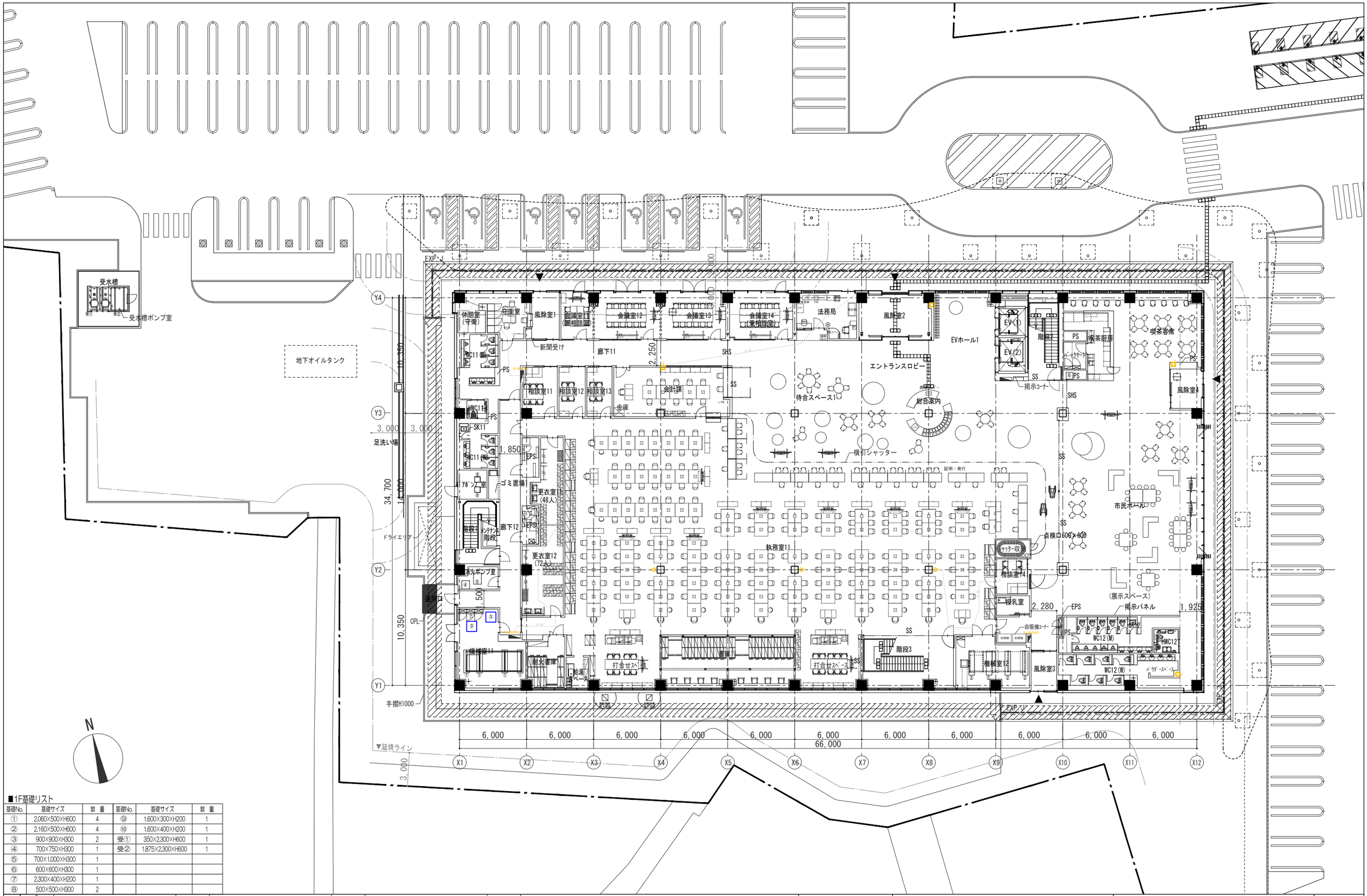
EXP.J	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	排鉄製ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		排鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場 サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環 φ19 径100
	※ハッチング：免震装置の交換ルートを示す		※オーバーフロー管：SUS製 50φ		

SS	防火シャッター
SHS	防火シャッター（シートシャッター）
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）	
A	全埋込み型
B	半埋込み型
C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事		一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MA-007
図面名	免震ピット階(FL±0)平面図		総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 進司
				設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4608号 渡邉 森

通し番号



■1F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	2,060×500×H600	4	⑨	1,600×300×H200	1
②	2,160×500×H600	4	⑩	1,600×400×H200	1
③	900×900×H300	2	受①	350×2,300×H600	1
④	700×750×H300	1	受②	1,875×2,300×H600	1
⑤	700×1,000×H300	1			
⑥	600×600×H300	1			
⑦	2,300×400×H200	1			
⑧	500×500×H300	2			

凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	【PL+000】	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄製ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

SS	防火シャッター		
SHS	防火シャッター（シートシャッター）		
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）			
A	全埋込み型		
B	半埋込み型		
C	床置き型		

株式会社 佐藤総合計画

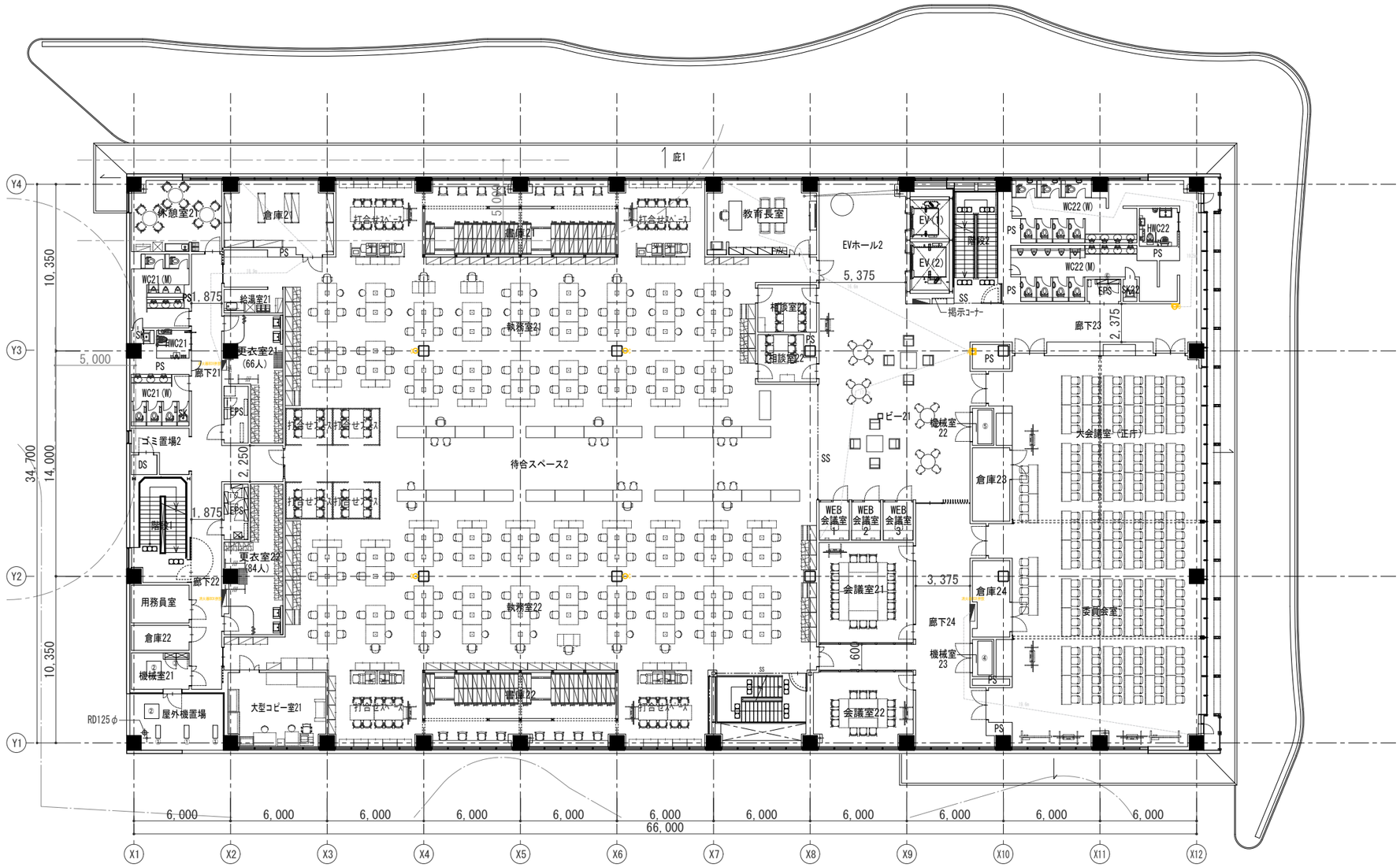
工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事		
図面名	1階平面図		
設計番号	04632-010	作成日	–
縮尺	A1　S=1/150 A3　S=1/300		

一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号
建設コンサルタント　登録番号　建01第843号

総括	一級建築士第315658号　飯柴耕一
担当	一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
構造関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号　檜垣　直司
設備関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森

種別 MA-008

通し番号



■2F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	300×800×H600	3
②	900×900×H300	2
③	1,600×400×H200	1
④	900×2,100×H300	1
⑤	900×2,100×H300	1
⑥	1,600×300×H200	1

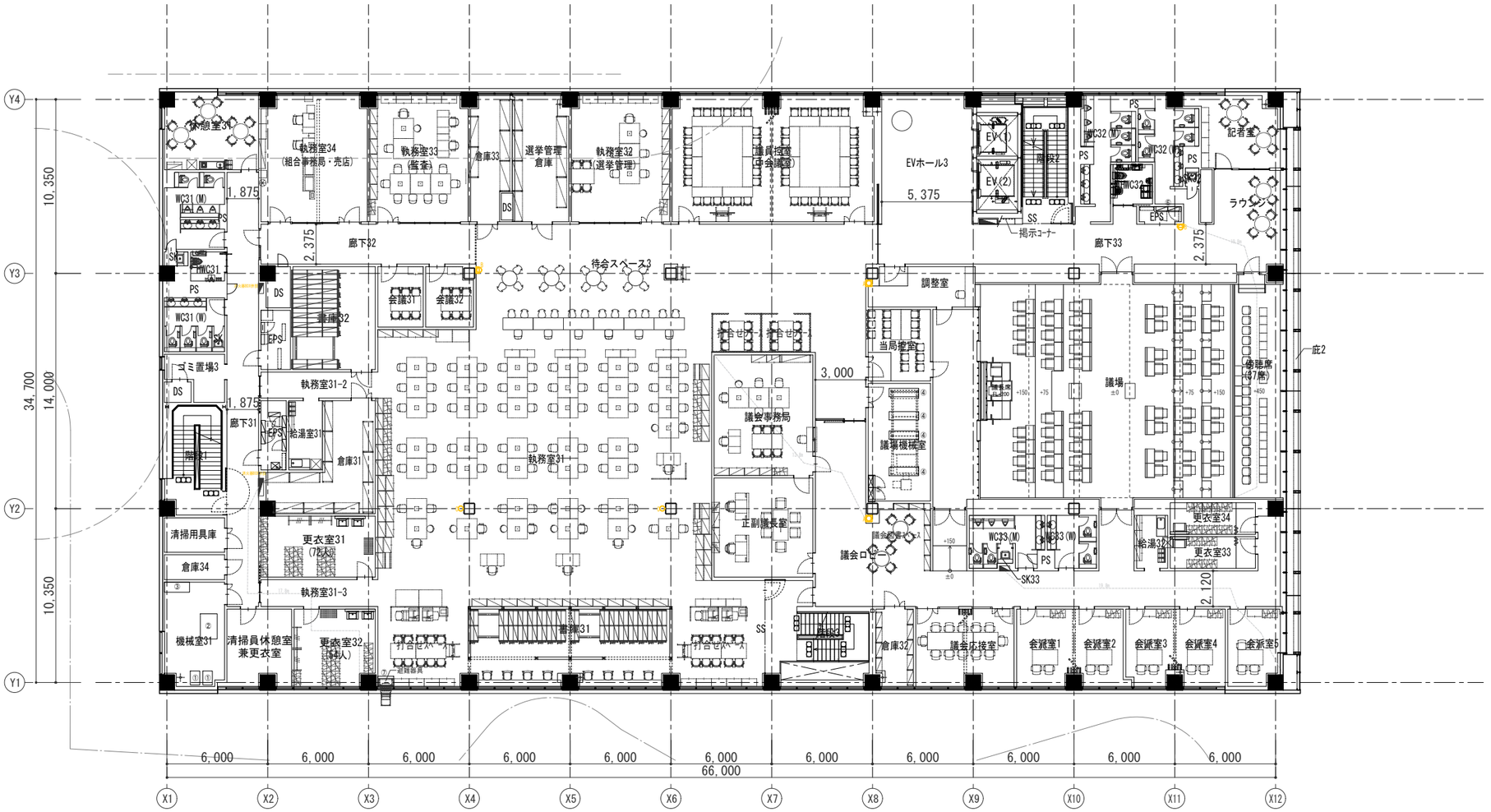
凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	排鉄製ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		排鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場 サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS目在丸環 φ19 径100
	※オーバーフロー管：SUS製 50φ				

SS 防火シャッター
SHS 防火シャッター（シートシャッター）
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）
A 全埋込み型
B 半埋込み型
C 床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 MA-009
図面名	２階平面図	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300
		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 権堀 進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359949号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森
			通し番号



■3F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	1,760×500×H600	2
②	1,500×1,000×H300	1
③	830×560×H300	1
④	600×1,500×H300	4
⑤	1,600×400×H200	1
⑥	1,600×300×H200	1
⑦	900×600×H200	1

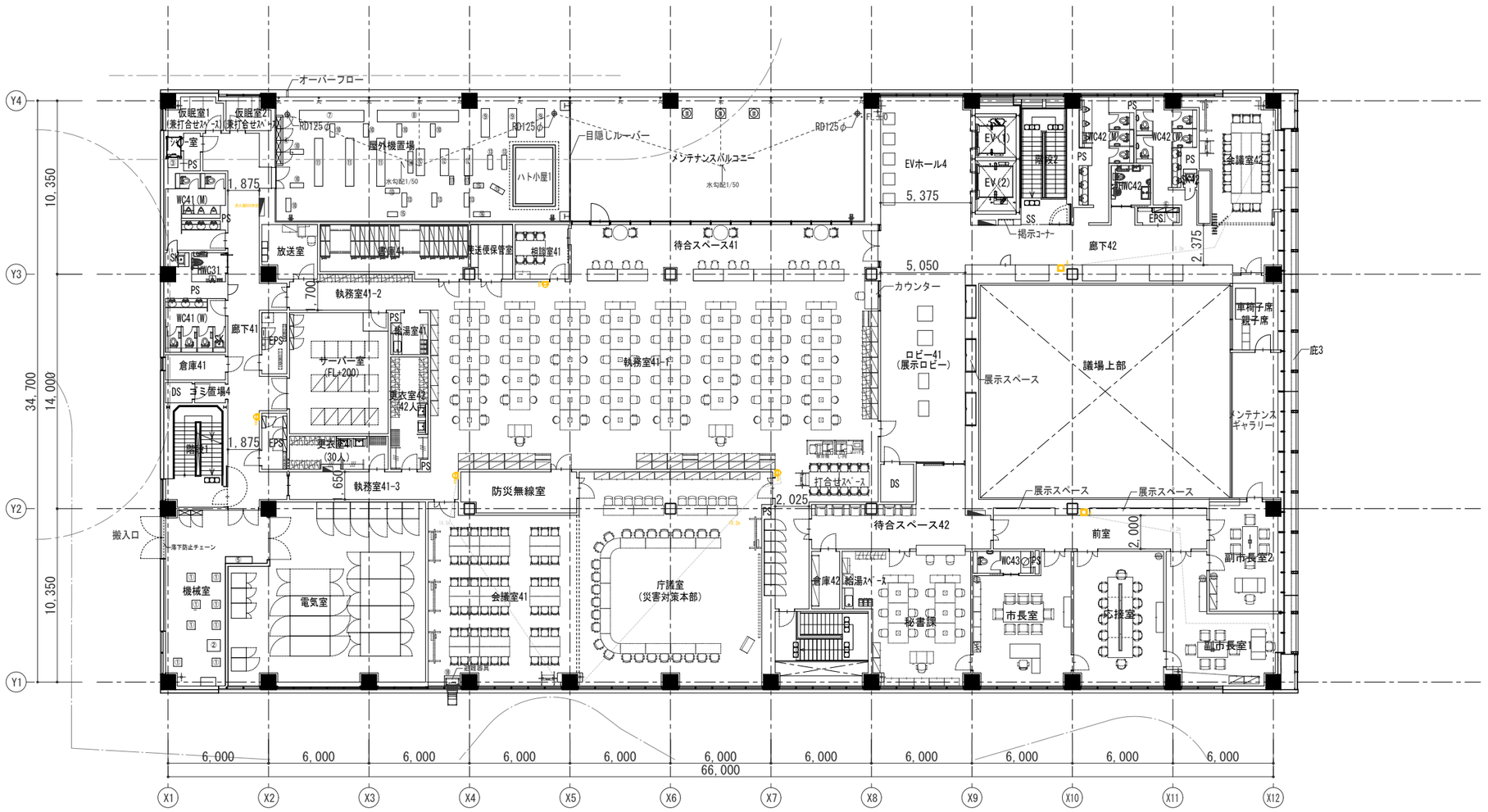
凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通口600φ		SUS製床点検口600角（防臭・防水仕様）	PD	排鉄製ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		排鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）	FA	SUS自在丸環　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

SS	防火シャッター	
SS	防火シャッター（シートシャッター）	
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）		
A	全埋込み型	
B	半埋込み型	
C	床置き型	

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-010
図面名	3階平面図	総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 –	縮尺 A1　S=1/150 A3　S=1/300
構造関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 檜垣　進司	
設備関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森	通し番号



■4F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	500×500×H150	8	⑨	500×1,700×H500	3	⑰	300×500×H150	2
②	700×785×H150	1	⑩	300×800×H300	7	⑱	900×600×H200	1
③	600×600×H300	1	⑪	500×2,860×H500	3	㉘	400×400×H1,000	2
④	3,000×400×H500	1	⑫	500×1,600×H500	3			
⑤	1,600×400×H200	1	⑬	300×850×H800	7			
⑥	1,600×300×H200	1	⑭	300×1,300×H300	1			
⑦	700×3,850×H300	1	⑮	300×600×H300	2			
⑧	700×4,850×H300	1	⑯	300×1,000×H300	1			

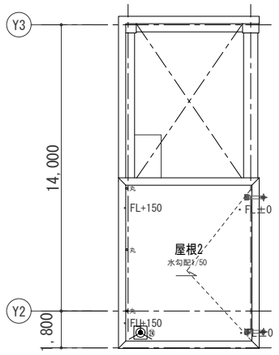
凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
⊠	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸蓋　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

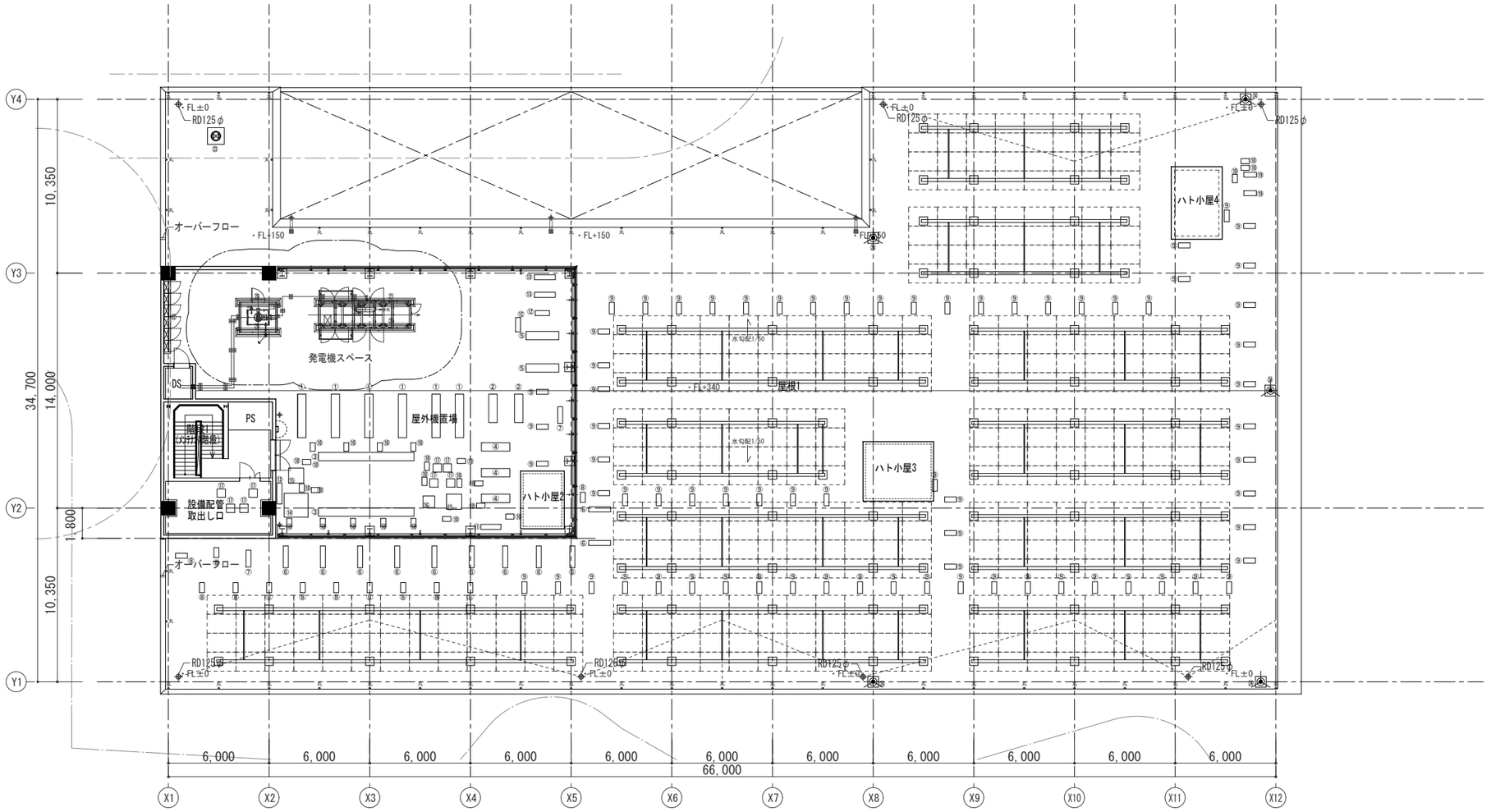
SS	防火シャッター	A	全埋込み型
SHS	防火シャッター（シートシャッター）	B	半埋込み型
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）		C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事		一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-011
図面名	4階平面図		一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋美雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 –	縮尺 A1　S=1/150 A3　S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 権堀　進司
				設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森



RF平面図



PHF平面図

■4F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	500X2,600XH500	6	⑨	300X700XH300	72	⑰	500X500XH150	8	太陽光	700X700XH500	114
②	500X1,700XH150	2	⑩	300X500XH300	23	⑱	-	-			
③	500X5,700XH500	2	⑪	300X1,200XH300	1	⑲	750X300XH500	2			
④	1,700X500XH500	3	⑫	300X850XH800	2	⑳	2,700X500XH500	1			
⑤	500X1,950XH500	1	⑬	300X1,250XH300	3	㉑	6,000X500XH500	2			
⑥	300X1,300XH300	11	⑭	1,420X1,420XH150	1	㉒	4,400X400XH500	1			
⑦	300X1,000XH300	2	⑮	900X900XH150	2	㉓	1,000X1,000XH500	1			
⑧	300X600XH300	12	⑯	700X700XH150	1	㉔	600X600XH500	5			

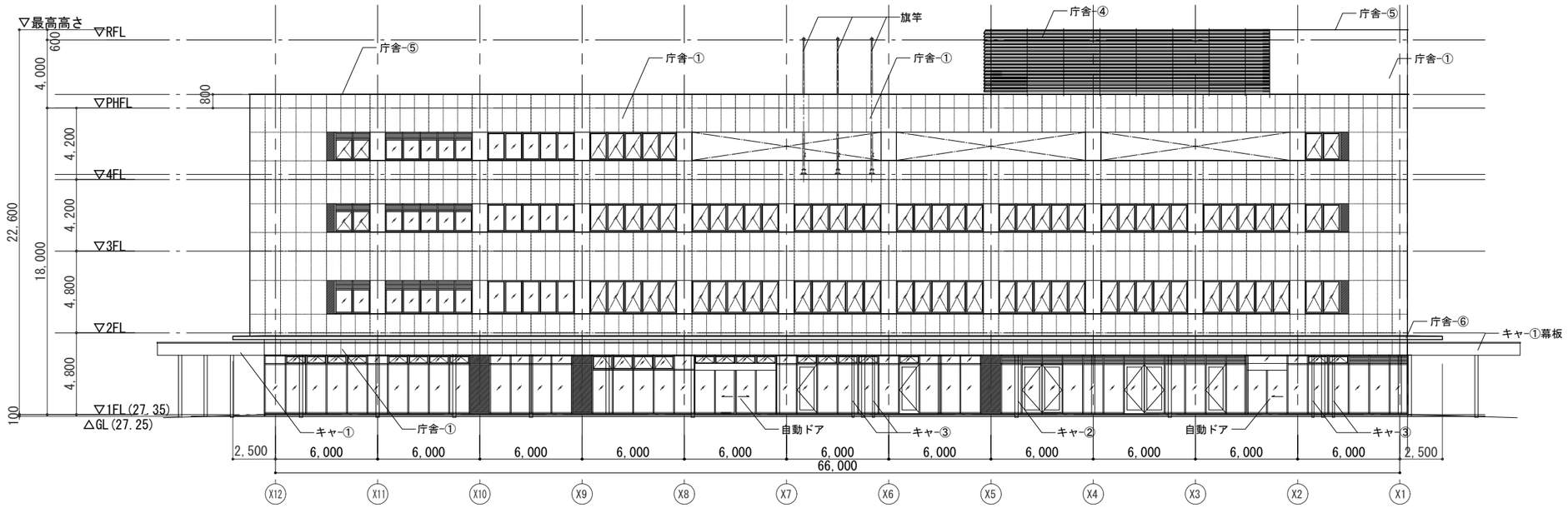
凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
⊠	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）	φ丸	SUS自在丸環　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

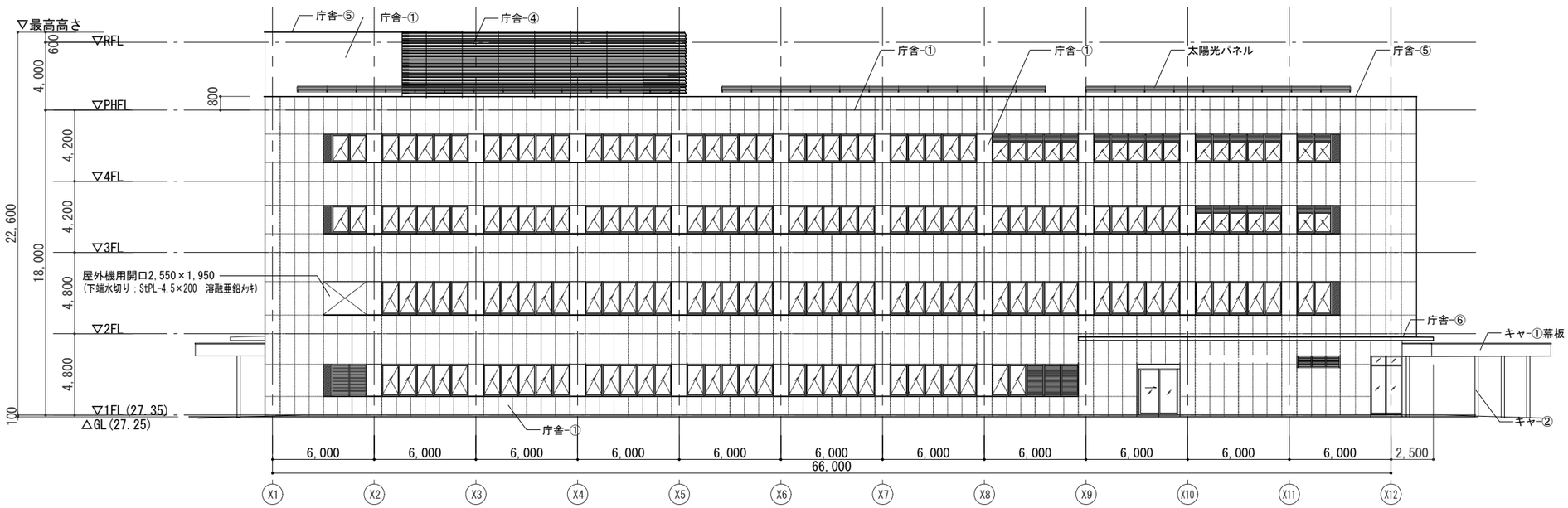
SS	防火シャッター
S+S	防火シャッター（シートシャッター）
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）	
A	全埋込み型
B	半埋込み型
C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-012
図面名	PH階・R階平面図	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋美雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 -	縮尺 A1　S=1/150 A3　S=1/300
構造関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 権堀　進司	
設備関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森	通し番号



北側立面図



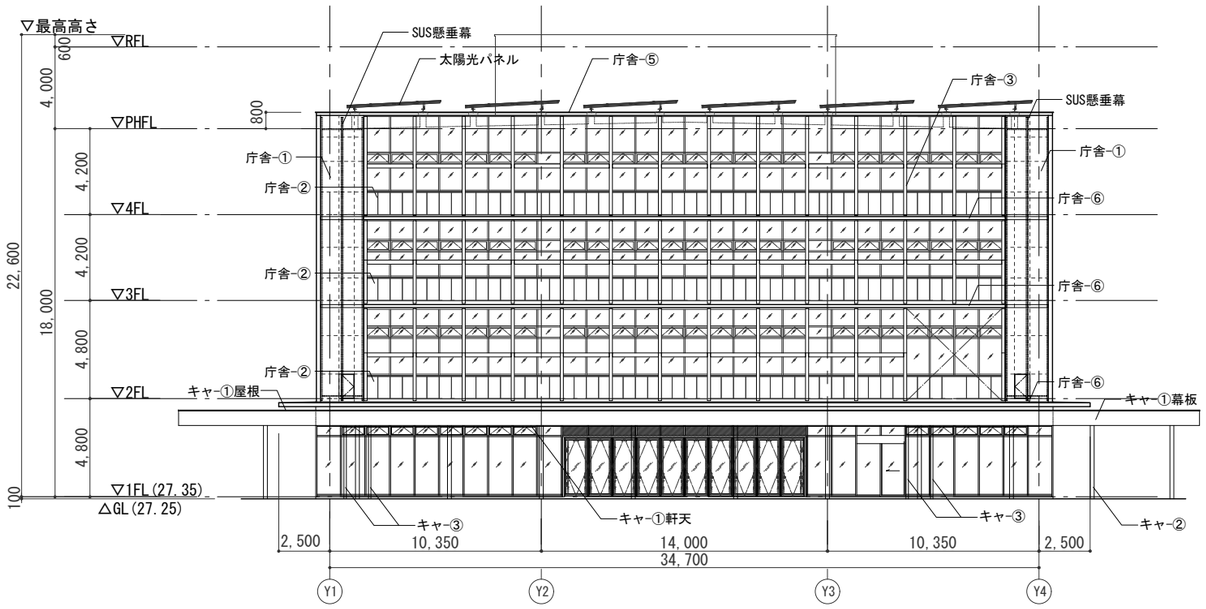
南側立面図

庁舎-①	外壁1：コンクリート打ち放し仕上げA種+保護塗装A	キャ-①	ｷｬﾉﾋﾞ-1：屋根 木毛セメント板+シート防水	※SUS懸垂幕:W1000×13850２連仕様（強風地域仕様）		
庁舎-②	外壁2：ECP(A種) t60 フラットパネル+保護塗装A		幕板 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t6.0 二次電解着色	ﾀﾞｲﾔﾝ ﾒﾀﾞｨﾌｧｰMTST型SUSｳｨﾝﾁ下手巻式同等品		
庁舎-③	ルーバー：アルミカットパネルt5.0		軒天 LGS+ケイカル板+DP			
庁舎-④	目隠し遮音ルーバー：アルミルーバー（吸音材入）	キャ-②	ｷｬﾉﾋﾞ-2：屋根 木毛セメント板+シート防水			
庁舎-⑤	水切り：StPL-4.5×200　溶融亜鉛ﾒｯｷ		見切材 St-L100×100×7 溶融亜鉛メッキ仕上			
庁舎-⑥	防水：超速硬化ウレタン塗膜防水		軒天 あらわし（EP）			

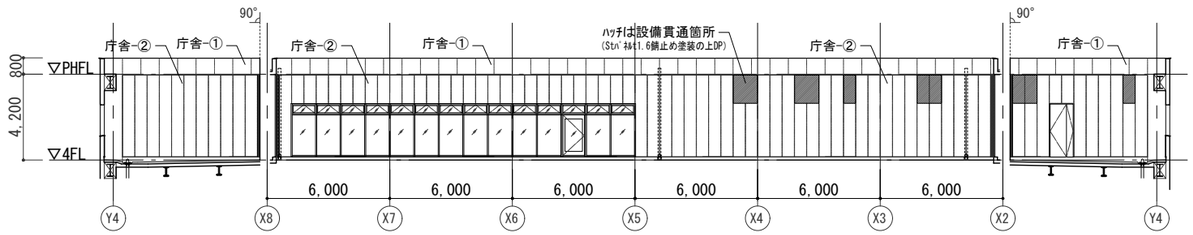
株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-013
図面名	立面図(1)	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1　S=1/150 A3　S=1/300
構造関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 権堀　進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森

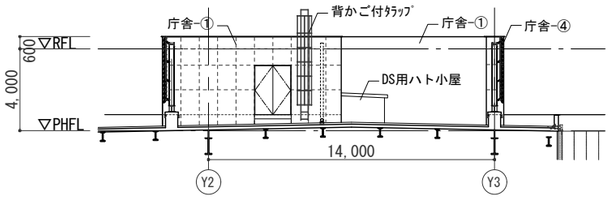
通し番号



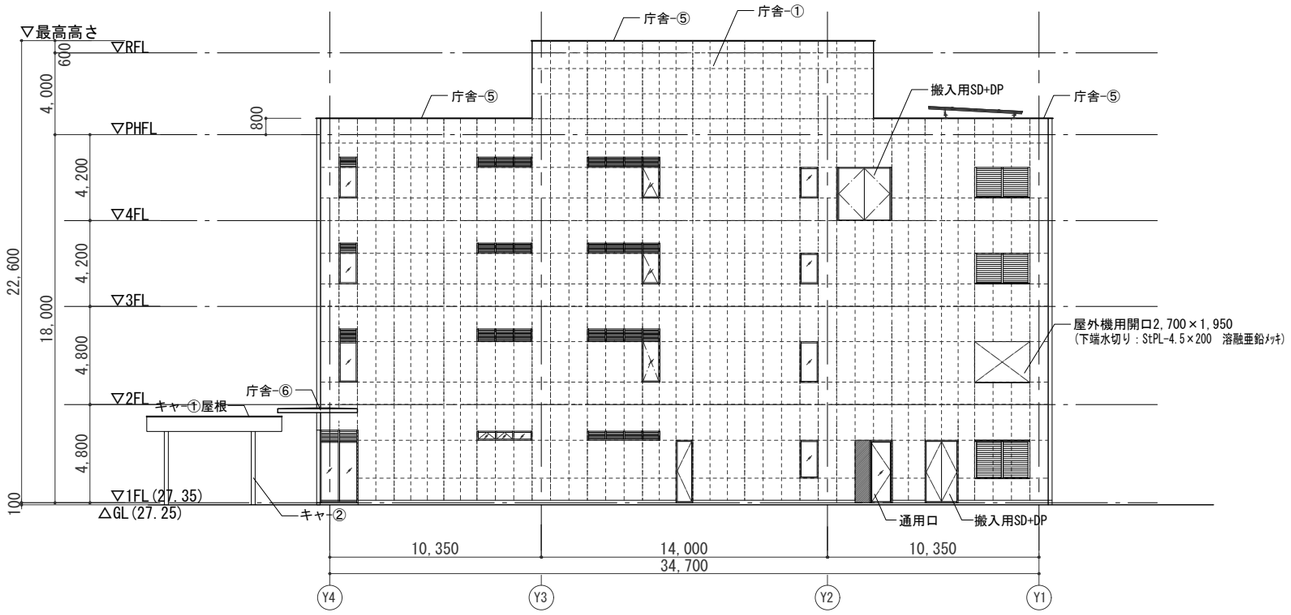
東側立面図



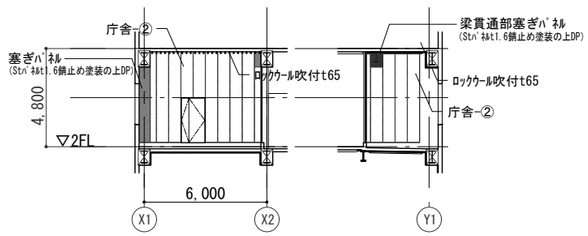
4Fﾒﾝﾃﾅﾝｽﾊﾞﾙｺﾆｰ部分立面図



PHF屋外機置場側立面図



西側立面図



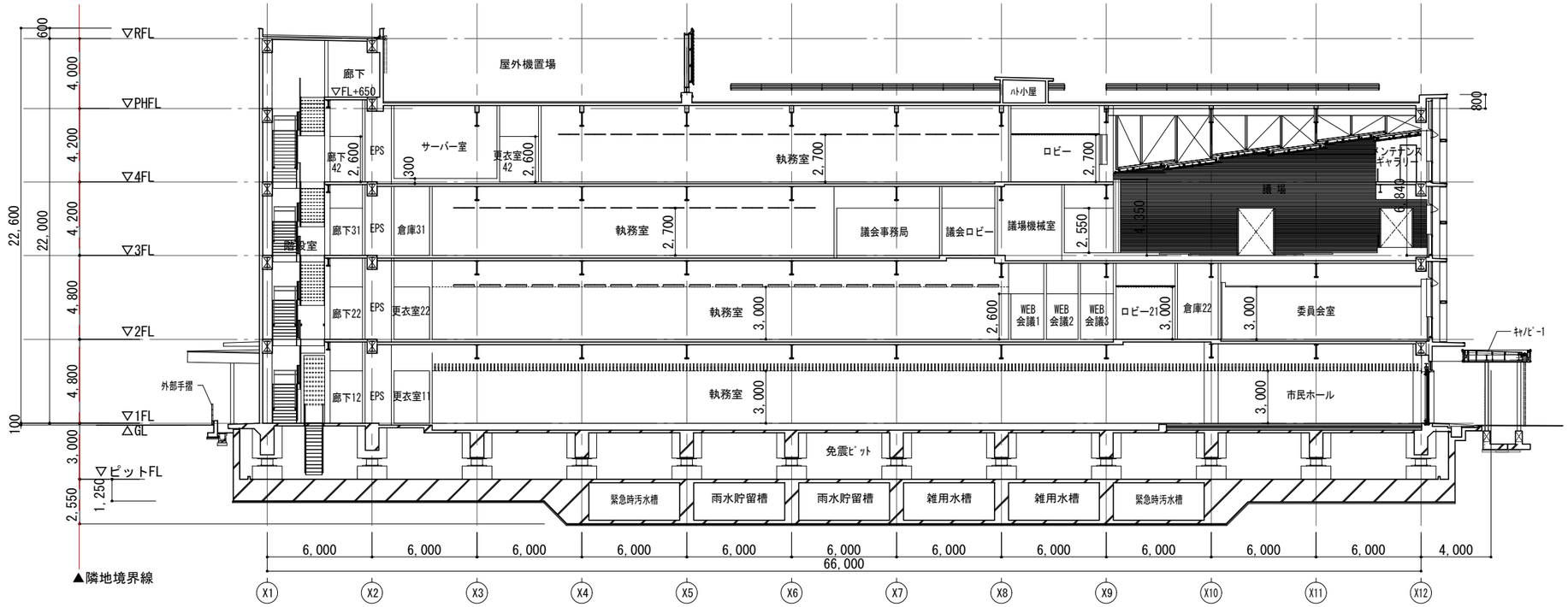
2F屋外機置場立面図

庁舎-①	外壁1：コンクリート打ち放し仕上げA種+保護塗装A	キャ-①	ｷｬﾉﾋﾞ-1：屋根 木毛セメント板+シート防水	※SUS懸垂幕:W1000×13850２連仕様（強風地域仕様）
庁舎-②	外壁2：ECP(A種) t60 フラットパネル+保護塗装A		幕板 ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t6.0 二次電解着色	ﾀﾞｲﾜﾝ ﾒﾀﾞｨｱﾗｯﾌﾟWTST型SUSｳｨﾝﾁ下手巻式同等品
庁舎-③	垂直ルーバー：アルミカットパネルt3.0		軒天 LGS+ケイカル板+DP	
庁舎-④	目隠し遮音ルーバー：アルミルーバー（吸音材入）	キャ-②	ｷｬﾉﾋﾞ-2：屋根 木毛セメント板+シート防水	
庁舎-⑤	水切り：StPL-4.5×200　溶融亜鉛ﾒｯｷ		見切材 St-L100×100×7 溶融亜鉛メッキ仕上	
庁舎-⑥	防水：超速硬化ウレタン塗膜防水		軒天 あらわし（EP）	

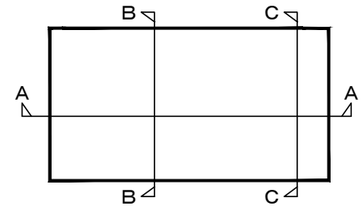
株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 MA-014
図面名	立面図２	総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1　S=1/150 A3　S=1/300
構造関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 稙垣　進司	設備関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森

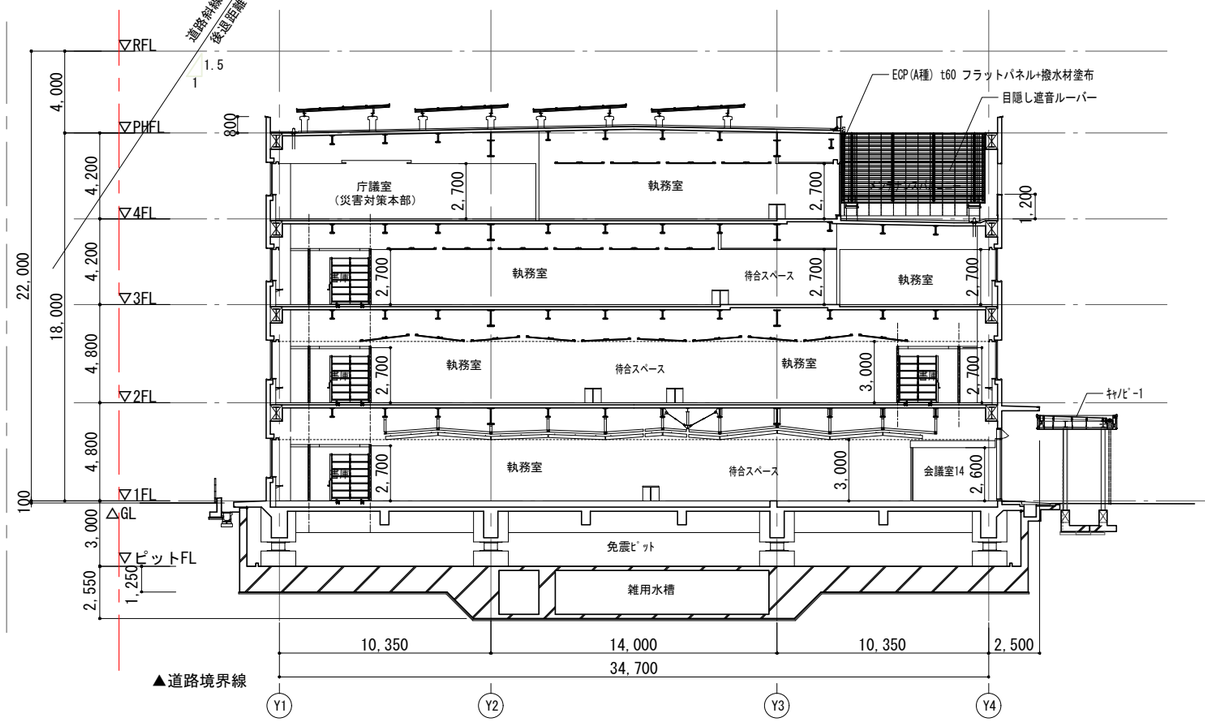
通し番号



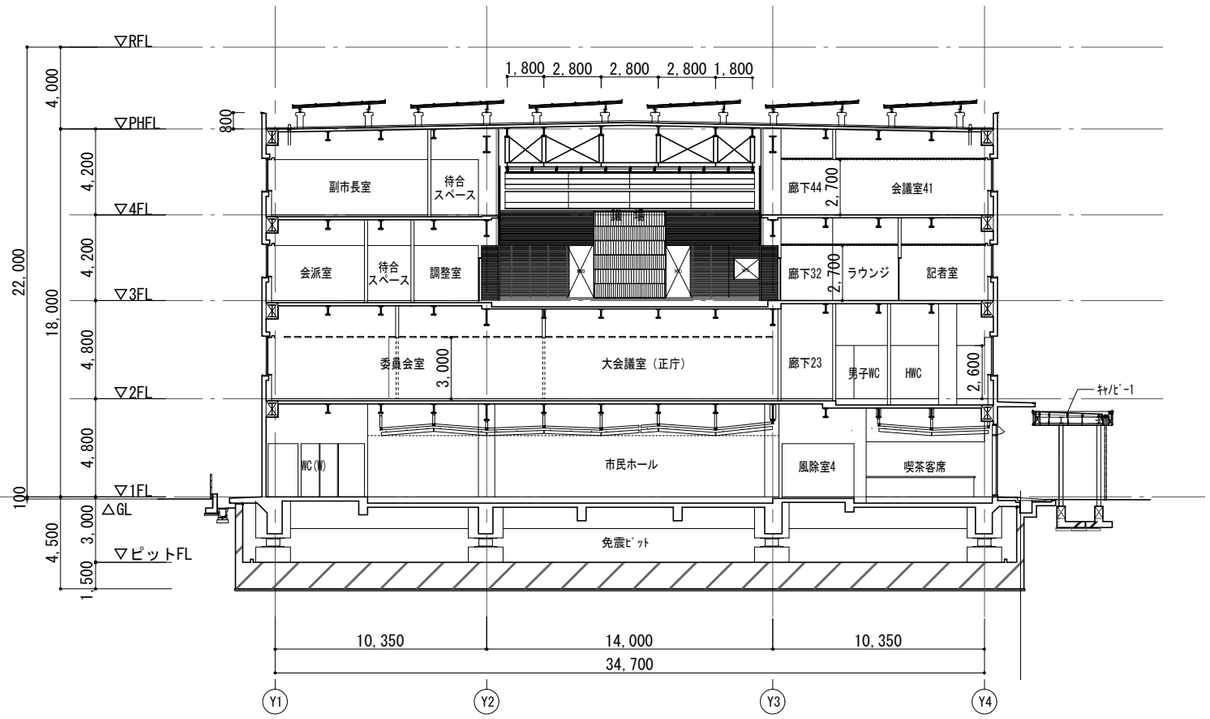
A-A断面図



断面キープラン



B-B断面図



C-C断面図

株式会社 佐藤総合計画	工事名称 南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事		一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号		種別 MA-015
	図面名 断面図		設計 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
	設計番号 04632-010	作成日 -	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 権堀 進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森

機器表-1

記号	機器名称	機器仕様	動力（50Hz） φ	V	kW	起動方式	非常用電源	台数	設置場所 階		参考運転重量(kg)	備考
TW-1	受水槽	受水槽仕様　：鋼板製一体型(ポンプ室付・2槽式)　耐震1.5G						1	屋外	受水槽置場	11000	RC基礎建築工事
		有効容量　：6.4 m3　　呼称容量　：　8.0 m3										NYK
		水槽部寸法　：2,000 (1,000 + 1,000) x 2,000 x 2,000H										
		ポンプ室寸法：2,000 x 1,500 x 2,000H										
		付　属　品　：鍵付二重式マンホール600φx2、透明防波管x2、通気口(防虫網付)x2										
		タラップ(内外共)x2、電極接続口x2、電極座x2、電極x2、電極カバーx2										
		アンカーボルト（SUS製）x2、緊急遮断弁(65A)、緊急遮断弁操作盤										
		BT口、非常用水栓、他付属品一式	1	100								
PWU-1	加圧給水ポンプユニット	型　　式　：ステンレス製　推定末端圧一定型　交互並列運転	3	200	3.7×2	INV	○	1組	屋外	受水槽ポンプ室	223	RC基礎建築工事
	(上水用)	ポンプ仕様　：40Φ　×　50Φ　×　260L/min　×　54m										KFE40P3.7 相当品
		制　　御　：制御盤（受水槽満減水警報・外部一括警報・緊急停止回路付・										川本ポンプ
		ヒーターON/OFF制御・ポンプ運転ON/OFF信号・流入弁ON/OFF信号）										
		付　属　品　：制御盤（ACリアクトル付）、スプリング防振架台、ヒーター（サーモスタット付）										
		赤水対策品、他付属品一式										
PWU-2	加圧給水ポンプユニット	型　　式　：ステンレス製　推定末端圧一定型　交互並列運転（吸上仕様）	3	200	3.7×2	INV	○	1組	B1	免震ピット	174	RC基礎建築工事
	（雑用水用）	ポンプ仕様　：40Φ　×　50Φ　×　360L/min　×　48m										KFE40P3.7 相当品
		制　　御　：制御盤（雑用水槽満減水警報・渇水警報・外部一括警報・ポンプ運転ON/OFF信号）										川本ポンプ
		付　属　品　：制御盤（ACリアクトル付）、フート弁x2、スプリング防振架台、電極棒（5P）										
		赤水対策品、他付属品一式										
PW-1	加湿・散水用加圧ポンプ	型　　式　：受水槽一体形加圧給水ポンプ（吐出圧一定給水式）	3	200	0.75	INV	○	2組	4	機械室	271	RC基礎建築工事
	(空調室外機散水仕様給水用)	受水槽容量　：200L										RMD2-32THP6-V750(E) 相当品
	(空調加湿給水用)	ポンプ仕様　：32Φ　×　20L/min　×　30m										テラル
		付　属　品　：制御盤（外部出力端子付）、フロートスイッチ、受水槽架台、ドレンアダプタ										
		フレキシブルチューブ、他付属品一式										
WHE-1	電気温水器	貯　湯　量　：25L　（雑湯用タイプ）	1	100	1.1	直入	－	9			37	ESD25C(R/L)X111E0
		定格加熱能力：1.1kW						(2)	1	執務室11（給湯スペース）、授乳室		日本イトミック
		機　　能　：自動湯水入替、給湯コントローラー、ウィークリータイマー、漏水ブザー						(2)	2	給湯室21、休憩室21		
		付　属　品　：アングル止水栓、ブローキャッチャー、逃しホース、耐震固定金具、他付属品一式						(3)	3	給湯室31、給湯室32、休憩室21		
								(2)	4	給湯室41、秘書課（給湯スペース）		
WHE-2	電気温水器	貯　湯　量　：200L	1	200	2.4	直入	－	1	4	シャワー室PS	290	ES-200RM-14
		定格加熱能力：2.4kW										日本イトミック
		機　　能　：自動湯水入替、給湯コントローラー、ウィークリータイマー、漏水ブザー										
		付　属　品　：リモコン（ESR-3A）、リモコンケーブル、漏水検知センサー、外部出力板										
		絶縁パイプセット、耐震固定金具、他付属品一式										
WHE-3	電気温水器	貯　湯　量　：35L	1	100	1100W	直入	－	2	1	喫茶厨房	50	ESN35AWX111E0
		定格加熱能力：1.1kW										日本イトミック
		機　　能　：自動湯水入替、給湯コントローラー、ウィークリータイマー、漏水ブザー										
		付　属　品　：アングル止水栓、ブローキャッチャー、逃しホース、耐震固定金具、他付属品一式										
GT-1	グリーストラップ	仕　　様　：SUS製グリーストラップ　スラブ天吊・パイプ導入型	1	－	－	－	－	1	1	厨房PS	128	SE50NS-YB
		許容流入流量　：50.0L/min										下田エコテック
		阻集グリース量：16.6kg										
		付　属　品　：ふた、トラップ管、フレキ（ゴム）、吊り金具、他付属品一式										

※電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力はJIS C 9219の定格条件及び試験方法による。
※ガス給湯機の定格加熱能力、定格消費電力、定格燃料消費量はJIS S 2112の定格条件及び試験方法による。

記号	機器名称	機器仕様	動力（50Hz） φ	V	kW	起動方式	非常用電源	台数	設置場所 階		参考運転重量(kg)	備考
PD-1	排水ポンプ	型式　：樹脂製汚水・雑排水用水中ポンプ　2台自動交互運転（非常時同時運転）	3	200	0.25×2	直入	○	4組	B2	ピット	5.9×2	MUP4-405-0.25T 相当品
	（湧水）	40Φ　×　100L/min　×　6m										川本ポンプ
		制御：制御盤（フロートスイッチ）										
		付属品：GV,CV,制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(30m)、他付属品一式										
PD-2	排水ポンプ	型式　：樹脂製汚水・雑排水用水中ポンプ　2台自動交互運転（非常時同時運転）	3	200	0.75×2	直入	○	1組	B2	ピット	31×2	SU4-505-0.75LN 相当品
	（雑排水）	50Φ　×　100L/min　×　6m										川本ポンプ
		制御：制御盤（フロートスイッチ）										
		付属品：GV,CV,制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(30m)、他付属品一式										
PD-3	排水ポンプ	型式　：樹脂製汚水・雑排水用水中ポンプ　2台自動交互運転（非常時同時運転）	3	200	0.75×2	直入	○	1組	B2	ピット	31×2	SU4-505-0.75LN 相当品
	（雨水）	50Φ　×　110L/min　×　6m										川本ポンプ
		制御：制御盤（フロートスイッチ）										
		付属品：GV,CV,制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(30m)、他付属品一式										
FP-1	消火ポンプユニット	型　　式　：電動機駆動タイプ（吸い上げ）	3	200	7.5	INV	○	1組	1	消火ポンプ室	185	RC基礎建築工事
	（広範囲型2号消火栓用）	ポンプ仕様　：40Φ　×　50Φ　×　180L/min　×　70m										KTK505CE7.5T 相当品
		制　　御　：制御盤（起動リースペース・消火水槽満減水警報・外部一括警報）										川本ポンプ
		付　属　品　：スプリング防振架台、圧力計、仕切弁、逆止弁、性能試験弁、他付属品一式共										
FP-2	補助加圧ポンプ	型　　式　：補助加圧ポンプ	3	200	2.2	INV	○	1組	1	消火ポンプ室	95	RC基礎建築工事
		ポンプ仕様　：15Φ　×　20L/min　×　80m										DPK2-155BE10K 相当品
		制　　御　：制御盤（圧力スイッチ）										川本ポンプ
		付　属　品　：制御盤、呼水槽（50L）、防振ゴムパット、他付属品一式										
HB-1	屋内消火栓箱	型　　式　：広範囲型2号消火栓埋込形（総合型・消火器組込形・SUS製）	1	100				12			－	日本消防検定協会認定品
		仕　　様　：開閉弁（25φ・80L/min・0.17MPa）・指定色仕上げ						(3)	1	廊下		
		付　属　品　：ホース25φx30m、ノズル・ホース収納装置、ホース掛け、他付属品一式共						(3)	2	廊下		
								(3)	3	廊下		
								(3)	4	廊下		
HB-2	屋内消火栓箱	型　　式　：広範囲型2号消火栓埋込形（総合型・消火器組込形・SUS製）	1	100				4			－	日本消防検定協会認定品
		仕　　様　：開閉弁（25φ・80L/min・0.17MPa）・指定色仕上げ						(1)	1	廊下		
		付　属　品　：ホース25φx30m、ノズル・ホース収納装置、ホース掛け、他付属品一式共						(1)	2	廊下		
								(1)	3	廊下		
								(1)	4	廊下		
	消火器	型　　式　：ABC粉消火器10型（蓄圧式）						25			－	日本消防検定協会認定品
								(7)	1			※消火器格納箱は建築工事
								(6)	2			
								(6)	3			
								(6)	4			
	消火器	型　　式　：ABC粉消火器10型（蓄圧式・屋外用床置き格納箱）						2		屋外	－	日本消防検定協会認定品
	消火器	型　　式　：ABC粉消火器50型（蓄圧式・屋外用床置き格納箱）						1		屋外	－	日本消防検定協会認定品
	雨水再利用設備	MP-301～MP-303参照										

※電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力はJIS C 9219の定格条件及び試験方法による。
※ガス給湯機の定格加熱能力、定格消費電力、定格燃料消費量はJIS S 2112の定格条件及び試験方法による。

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号 建設コンサルタント　登録番号　建26第843号	種別 MP-101
図面名	給排水衛生設備　機器表	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1：N.S A3：N.S
構造関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 稚垣　遠司	
設備関係規定に適合することを確認した		一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森	通し番号 －

器具表（1）

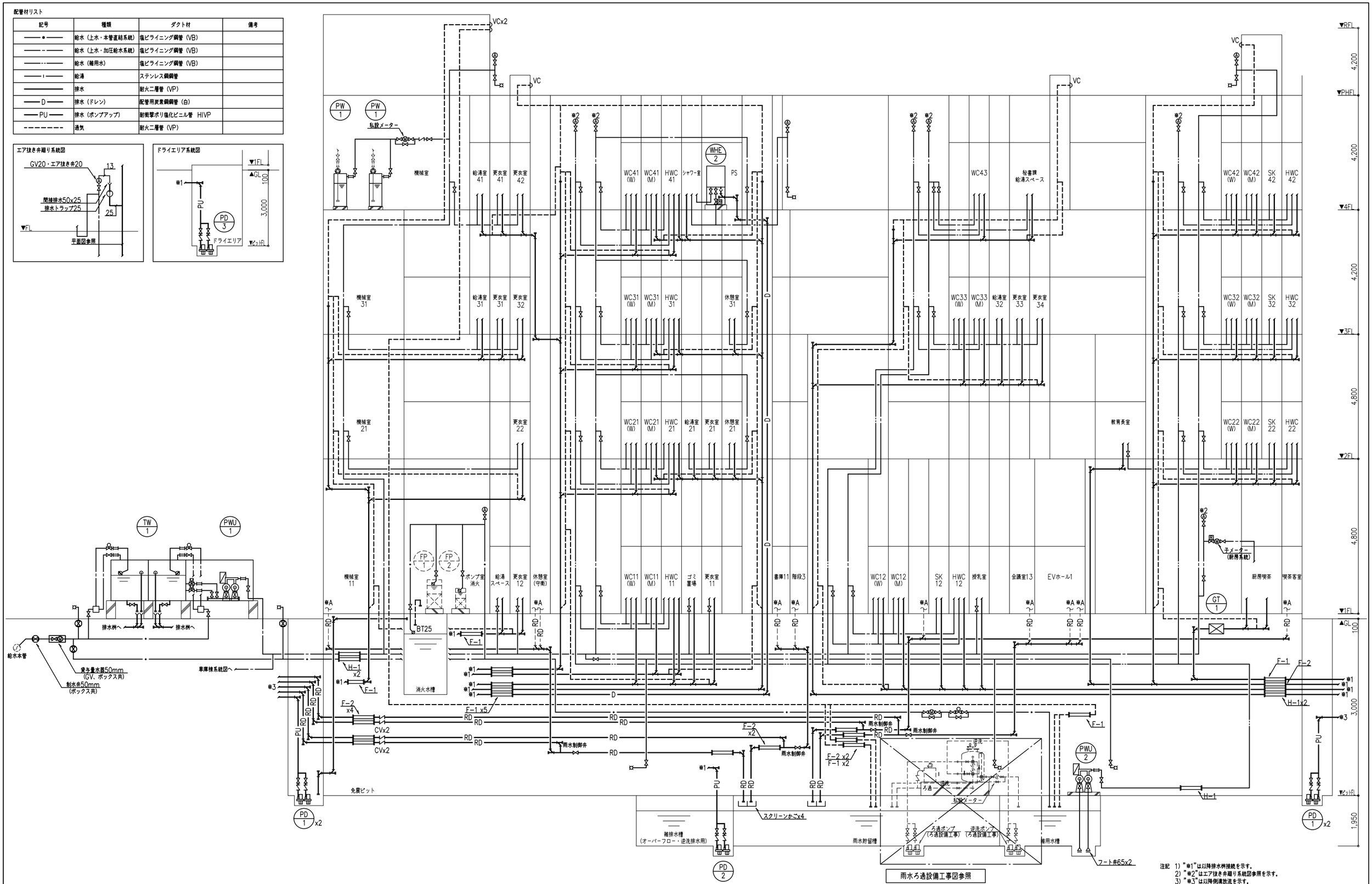
| 器具名称 | 品番（TOTO） | 品番（LIXIL） | 仕様 | 電気容量（参考値） | 合計 | 1階 | | | | | | | | | | | | | | 2階 | | | | | | | | | | | | | |

配管材リスト

記号	種類	ダクト材	備考
——●——	給水（上水・本管直結系統）	塩ビライニング鋼管（VB）	
——-——-	給水（上水・加圧給水系統）	塩ビライニング鋼管（VB）	
——··——·	給水（雑用水）	塩ビライニング鋼管（VB）	
——I——	給湯	ステンレス鋼鋼管	
————	排水	耐火二層管（VP）	
——D——	排水（ドレン）	配管用炭素鋼鋼管（白）	
——PU——	排水（ポンプアップ）	耐衝撃ポリ塩化ビニル管　HIVP	
- - - - - -	通気	耐火二層管（VP）	

エア抜き弁廻り系統図

ドライエリア系統図



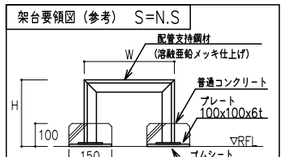
注記　1）"※1"は以降排水桝接続を示す。
2）"※2"はエア抜き弁廻り系統図参照を示す。
3）"※3"は以降側溝放流を示す。
4）"※A"の雨水設備はピット竪管までを建築工事、ピット横配管からを本工事とする。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号 建設コンサルタント　登録番号　建26第843号		種別 MP-103
	図面名	給排水衛生設備　系統図	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧	
	設計番号	04632-010	作成日 –	縮尺 A1：N.S A3：N.S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 増垣　達司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森	通し番号 –

記号	桝名称	桝寸法	桝深さ	地盤高	管底	桝間距離	管径		勾配	蓋仕様	備考
			mm	TP+	TP+	m	mm				
A1	小口径塩ビ桝	300φ	1,230	26.900	25.670	–	–	–	T-8		
A2	小口径塩ビ桝	300φ	1,310	26.900	25.590	7.8	150	1/100	T-8		
A3	小口径塩ビ桝	300φ	1,360	26.900	25.540	4.5	150	1/100	T-8		
A4	小口径塩ビ桝	300φ	1,440	26.900	25.460	7.9	150	1/100	T-8		
A5	欠番										
A6	小口径塩ビ桝	300φ	1,490	26.900	25.410	3.5	150	1/100	T-8		
A7	小口径塩ビ桝	300φ	1,500	26.900	25.400	0.9	150	1/100	T-8		
A8	小口径塩ビ桝	300φ	1,620	26.900	25.280	11.3	150	1/100	T-8		
A9	小口径塩ビ桝	300φ	1,420	26.550	25.130	15.0	150	1/100	T-8+防護蓋		
A10	小口径塩ビ桝	300φ	1,370	26.350	24.980	15.0	150	1/100	T-8		
A	新設最終桝		1,420	26.350	24.930	4.2	150	1/100			
	下水本管250φ				24.890	3.2					本管管底=23.85
TA4	欠番										
B1	小口径塩ビ桝	200φ	1,070	26.900	25.830	–	–	–	T-8		
B2	小口径塩ビ桝	200φ	1,100	26.900	25.800	2.1	150	1/100	T-8		
B3	小口径塩ビ桝	200φ	1,130	26.900	25.770	2.5	150	1/100	T-8		
B4	小口径塩ビ桝	200φ	1,180	26.900	25.720	5.0	150	1/100	T-8		
B5	小口径塩ビ桝	300φ	1,280	26.900	25.620	10.0	150	1/100	T-8		
B6	小口径塩ビ桝	300φ	1,320	26.900	25.590	2.5	150	1/100	T-8		
B7	小口径塩ビ桝	300φ	1,340	26.900	25.570	1.2	150	1/100	T-8		
B8	小口径塩ビ桝	300φ	1,360	26.900	25.550	1.5	150	1/100	T-8		
B9	欠番										
B10	欠番										
B11	小口径塩ビ桝	300φ	1,430	26.900	25.480	6.9	150	1/100	T-8		
B12	小口径塩ビ桝	300φ	1,460	26.900	25.450	2.1	150	1/100	T-8		
B13	小口径塩ビ桝	300φ	1,480	26.900	25.430	1.8	150	1/100	T-8		
B14	小口径塩ビ桝	300φ	1,460	26.810	25.350	7.9	150	1/100	T-25+防護蓋		
B15	小口径塩ビ桝	300φ	1,540	26.810	25.270	8.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B16	小口径塩ビ桝	300φ	1,660	26.810	25.150	11.8	150	1/100	T-25+防護蓋		
B17	小口径塩ビ桝	300φ	1,770	26.810	25.050	10.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B18	小口径塩ビ桝	300φ	1,860	26.810	24.960	8.3	150	1/100	T-25+防護蓋		
B19	小口径塩ビ桝	300φ	1,980	26.810	24.840	12.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B20	小口径塩ビ桝	300φ	1,840	26.550	24.720	12.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B21	小口径塩ビ桝	300φ	1,860	26.450	24.600	12.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B22	小口径塩ビ桝	300φ	1,870	26.330	24.470	13.0	150	1/100	T-25+防護蓋		
B	新設最終桝		1,960	26.330	24.380	8.2	150	1/100			
	下水本管250φ				24.320	5.8					本管管底=23.28
BT12	小口径塩ビトラップ桝	200φ	1,070	26.900	25.830	–	–	–	T-8		B12へ接続
B12				26.900	25.820	0.8	150	1/100	T-8		

	株式会社 佐藤総合計画	工事名称 南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第17210248号 建設コンサルタント 登録番号 建26第843号		種別 MP-104
		図面名 給排水衛生設備 外構図	設計 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号 –
		設計番号 04632-010	作成日 –	縮尺 A1： 1/250 A3： 1/500	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 遠司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4806号 渡邉 森

架台要領図（参考） S=N.S



番号	使用鋼材	W寸法	H寸法	個数
架台A	L-40x40x5t	300	500	43

免震継手リスト

番号	種類	口径	長さ	免震量	個数	備考
F-1	Fシステム	20~100	1000	600	13	
F-2	Fシステム	125~200	1100	600	9	
H-1	Hシステム	20~100	900	600	4	架台共

注記 1) 免震システムはTOZEN（参考）とし、免震量600mmとする。
2) ////// は、地球側からの支持を示す。
3) 明記なき ⊠ は梁貫通を示す。
4) 雨水配管の「※A」は、ピット竪管までを建築工事、ピット横配管からを本工事とする。

工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	種別	MP-105
図面名	給排水衛生設備　免震層ピット平面図	通し番号	–
設計番号	04632-010	作成日	–
縮尺	A1： 1/100 A3： 1/200		

株式会社 佐藤総合計画

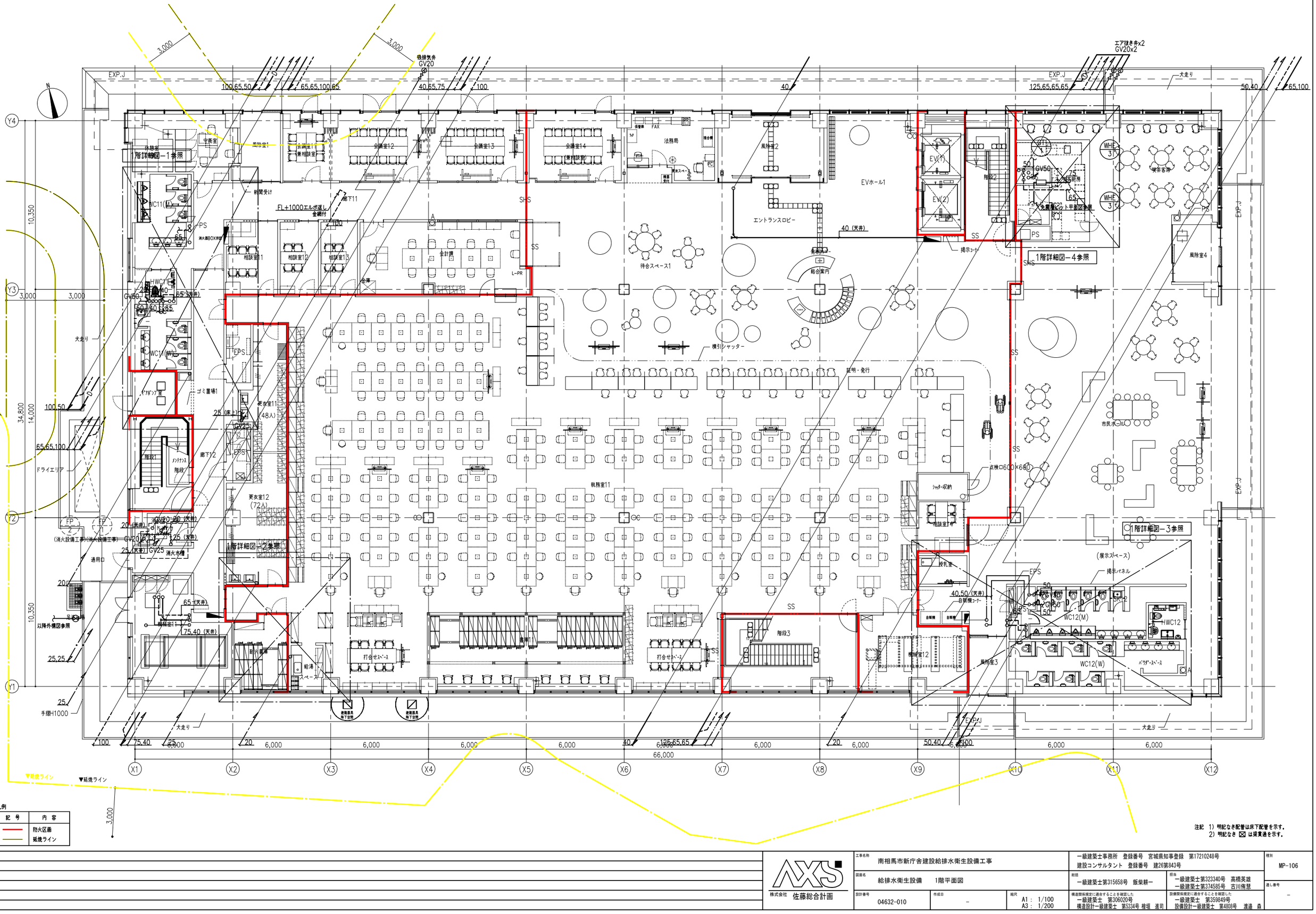
一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号
建設コンサルタント　登録番号　建26第843号

総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一

担当 一級建築士第323340号　高橋英雄
一級建築士第374585号　古川侑慈

構造関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第306020号
構造設計一級建築士　第5334号 増垣　遠司

設備関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第358949号
設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森

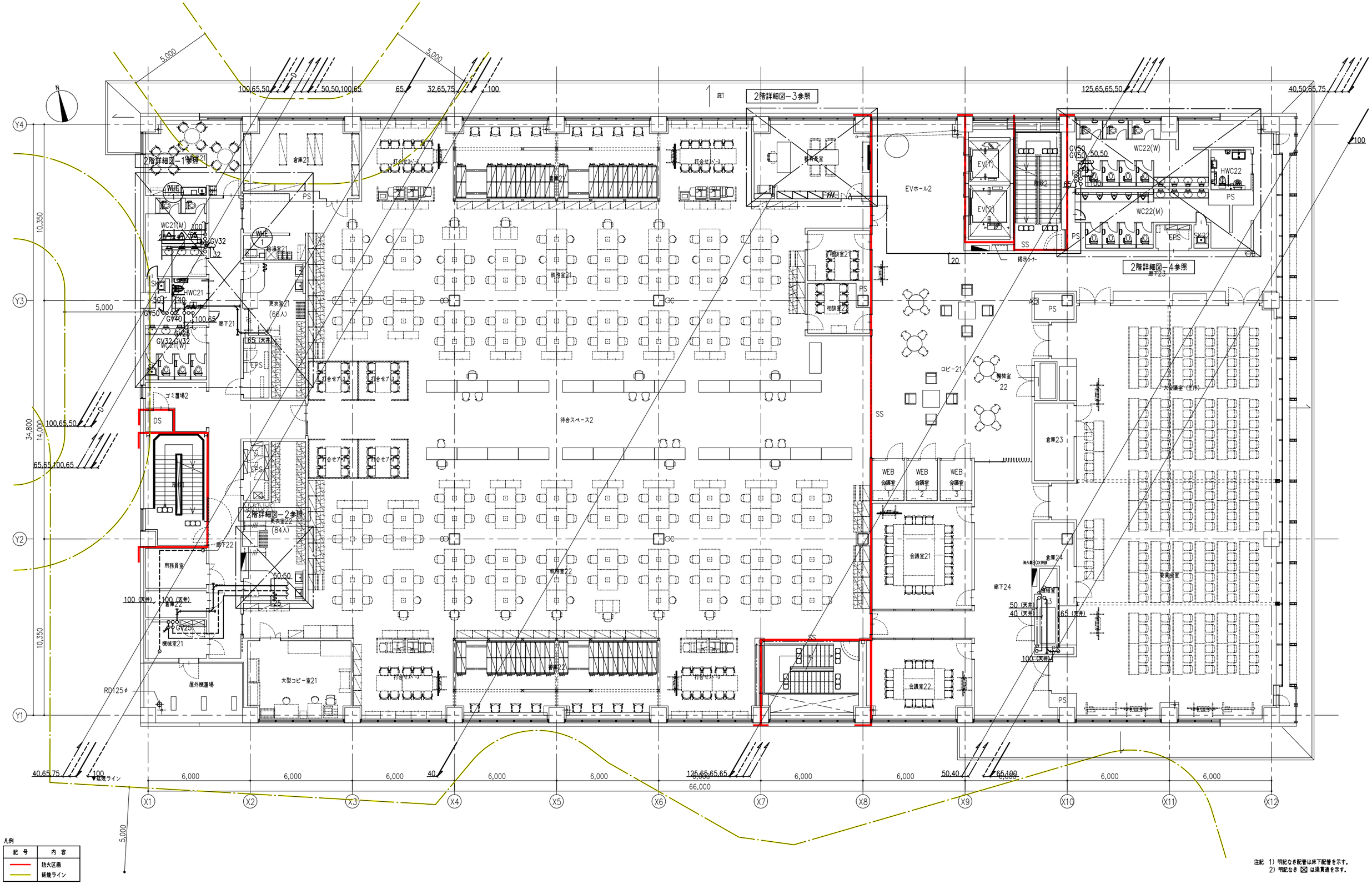


凡例

記　号	内　容
	防火区画
	延焼ライン

注記　1）明記なき配管は床下配管を示す。
　　2）明記なき ☒ は梁貫通を示す。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号 建設コンサルタント　登録番号　建26第843号		種別 MP-106
	図面名	給排水衛生設備　1階平面図	設計 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧	
	設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 増垣　進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4806号　渡邉　森	通し番号 －

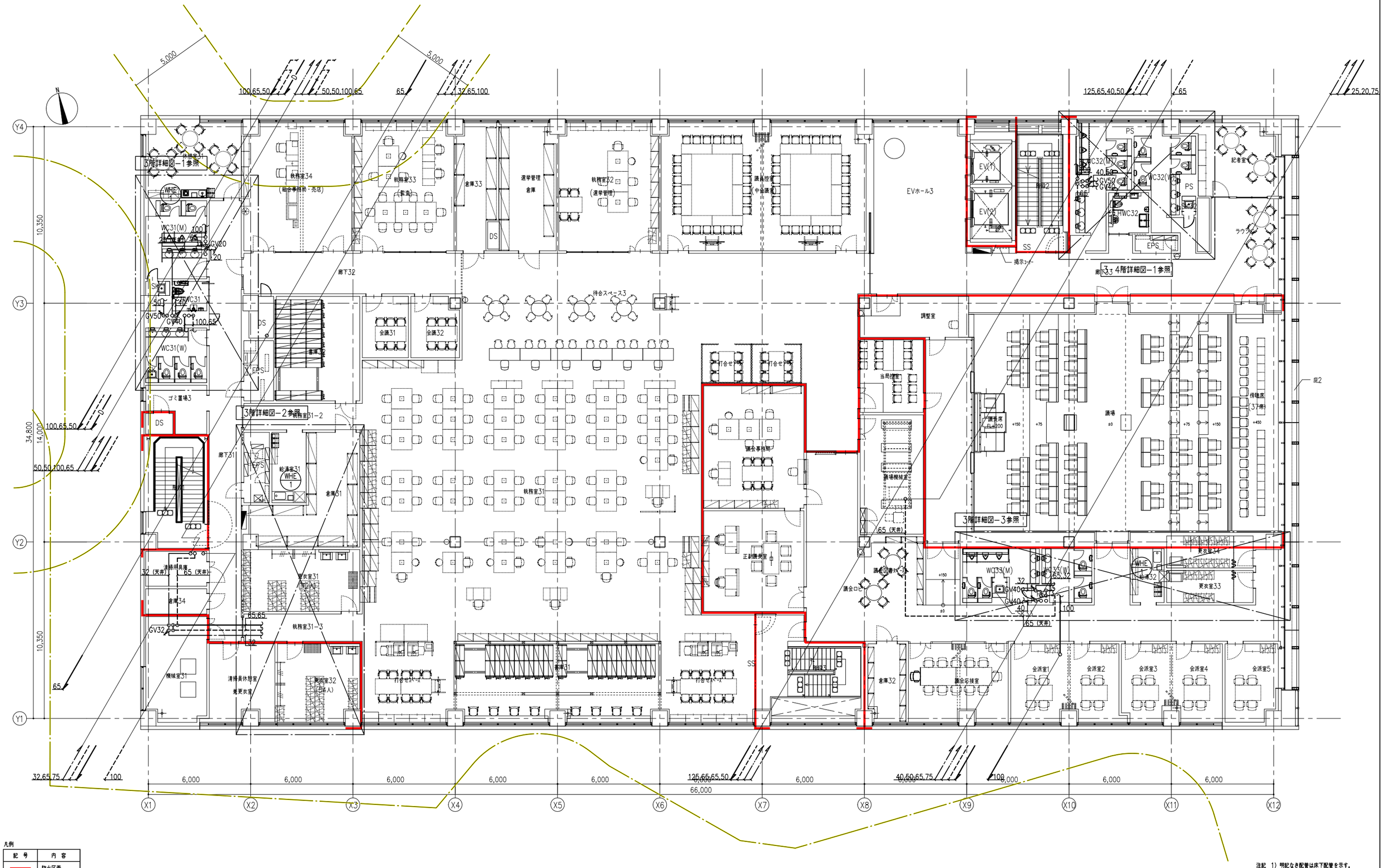


凡例

記　号	内　容
———	防火区画
———	延焼ライン

注記　1）明記なき配管は床下配管を示す。
　　2）明記なき ⊠ は梁貫通を示す。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号 建設コンサルタント　登録番号　建26第843号		種別 MP-107
	図面名	給排水衛生設備　2階平面図	担当	一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
	設計番号	04632-010	作成日	－	尺度 A1：1/100 A3：1/200
	構造関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 椎垣　遠司	設備関係規定に適合することを確認した	一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森	通し番号 －



凡例

記　号	内　容
———	防火区画
———	延焼ライン

注記　1）明記なき配管は床下配管を示す。
　　2）明記なき ⊠ は梁貫通を示す。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設給排水衛生設備工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第17210248号 建設コンサルタント　登録番号　建26第843号		種別 MP-108
	図面名	給排水衛生設備　3階平面図	設計 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧	通し番号 －
	設計番号	04632-010	作成日 －	縮尺 A1：1/100 A3：1/200	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 増垣　遥司
					設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邉　森